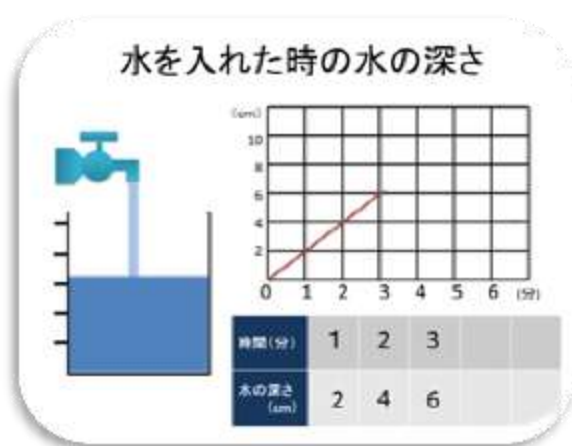


# プレゼンテーションソフトウェアによる教材作成



## ----- 目 次 -----

はじめに	1
I PowerPoint2007 の起動と基本的な画面構成	2
II 教材作成(1) 「九九フラッシュカード」	3
III 教材作成(2) 「3 択問題」	17
IV 教材作成(3) 「フォトアルバム」	27
V 授業で活用されているプレゼンテーション教材	29

# はじめに

## ICT を活用し、「大きく映す」ことによる効果

- 児童生徒の興味関心を高める
  - 画像、映像による学習への動機づけ……教材画像の提示など
- 課題把握に役立つ
  - 課題を分かりやすく提示することで、分かりやすくする。……体育実技の映像投影など
- 思考や理解を深める
  - ・ シミュレーション……実際に見せることができないものを見せる……天体、工業生産映像など
  - ・ 拡大……手元の動きを拡大して提示することで、共通理解が容易になる……鍵盤など
  - ・ 言葉だけでは伝えにくいものを提示することで分かりやすくする……楽譜、地図など
- 知識の定着を図る
  - フラッシュ型教材……繰り返しの学習に集中して取り組むことで、効率的に知識の定着を図る。  
計算、漢字、英単語など

## 効果的な ICT 機器

- 大型 TV……手軽に利用できる。タブレット型端末などを使うと電子黒板化できます。
- プロジェクタ＋スクリーン……どの教室にも移動して利用可能。最新のプロジェクタは点灯、消灯がすぐに行えるものが多いです。電子黒板機能のある製品もあります。
- 電子黒板……児童生徒の視線と表示が一致するため、学習効果が高いといわれています。
- PC 画面（PC 教室）……児童生徒一人ひとりに情報を確実に伝えることができます。

## プレゼンテーション教材の作成

- プレゼンテーションを作成できるソフトウェア
  - ・ ワードプロソフト……慣れているので扱いやすい。
  - ・ 図形作成ソフト……複雑な図形や画像などの作成が行える。
  - ・ 電子黒板専用ソフト……簡単に教材を作成し、電子黒板で活用することができる。
  - ・ プレゼンテーション作成ソフト……ストーリー性のあるものを大きく提示することができる。
- パワーポイントを使用する理由
  - ・ 普及率が高い……研究発表などでよく利用されている。
  - ・ 操作が簡単……ワードやエクセルと同様の操作で利用でき、データも利用できる。
  - ・ 多くの機能の利用……画像、映像、グラフ等が簡単に扱える。
  - ・ 電子黒板での活用……電子黒板と合わせて使うことで、学習効果を高めることが期待できる。

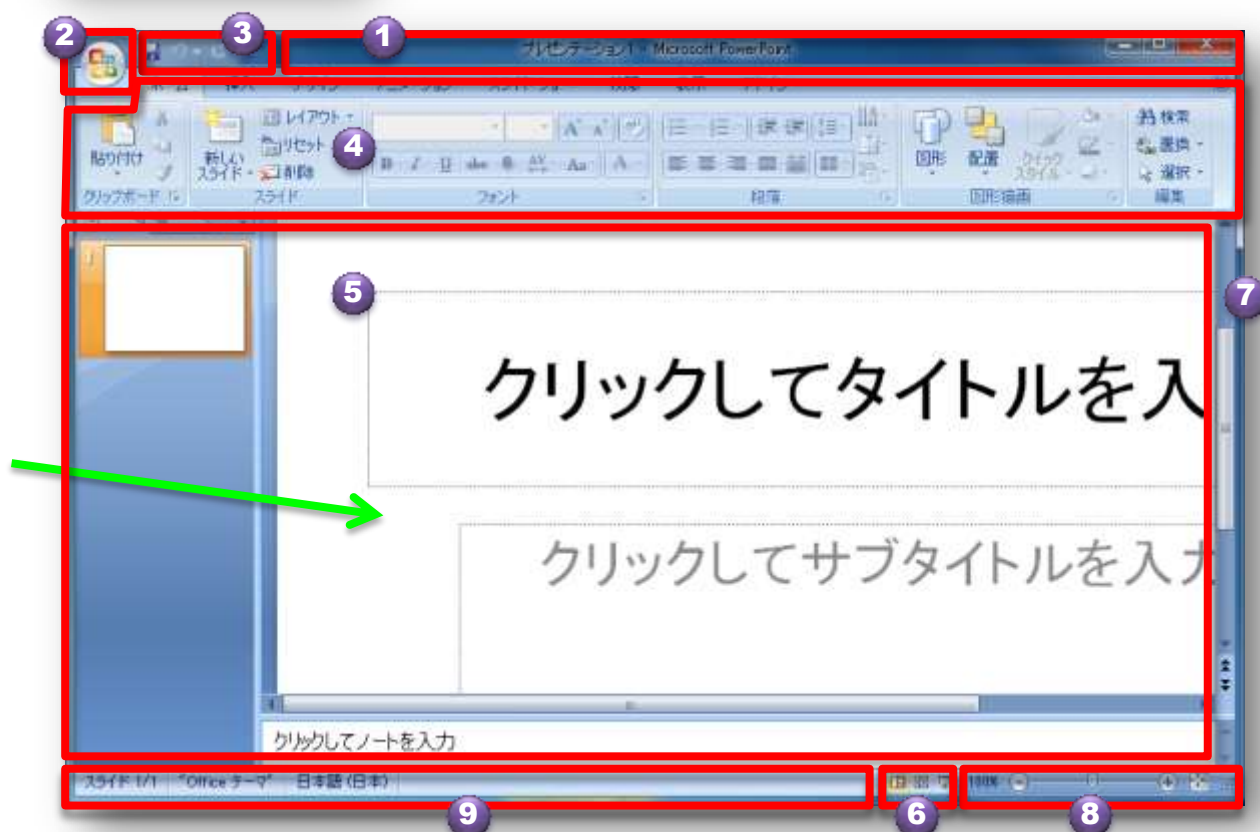
# I PowerPoint2007 の起動と基本的な画面構成



「スタート」→「すべてのプログラム」→「Microsoft Office」の順に選択し、「Microsoft Office PowerPoint 2007」をクリックします。



「Microsoft Office PowerPoint 2007」起動画面が表示され、その後パワーポイントが起動します。起動後の初期画面は以下のとおりです。



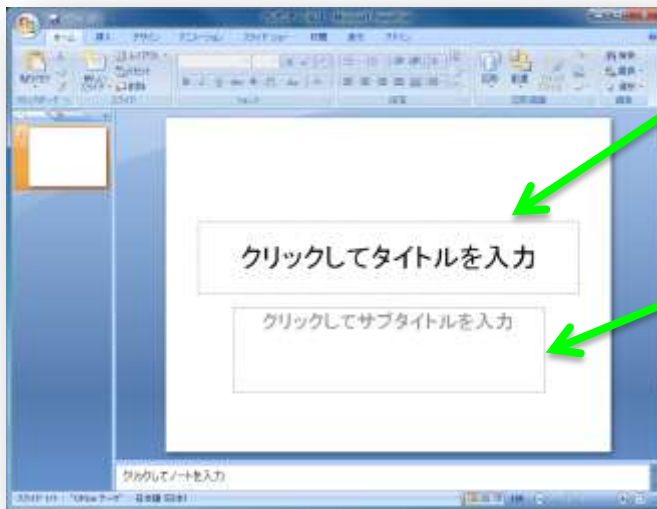
- ① タイトル バー: 編集中のプレゼンテーションのファイル名と使用中のソフト名が表示されます。
- ② オフィスボタン: [新規作成]、[開く]、[名前を付けて保存]、[印刷]、[閉じる]などの基本コマンドを使うときにクリックします。
- ③ クイック アクセス ツール バー: [保存] や [元に戻す] などのよく使うコマンドが配置されています。お好みのコマンドを追加することもできます。
- ④ リボン: 作業に必要なコマンドが配置されています。他のソフトで“メニュー”や“ツール バー”と呼ばれている部分にあたります。
- ⑤ 編集画面: 編集中のプレゼンテーションが表示されます。
- ⑥ 表示ボタン: 編集中のプレゼンテーションの表示方法を目的に応じて変更できます。
- ⑦ スクロール バー: 編集中のプレゼンテーション内の表示位置を変更できます。
- ⑧ ズーム スライダー: 編集中のプレゼンテーションの表示倍率を変更できます。
- ⑨ ステータス バー: 編集中のプレゼンテーションに関する情報が表示されます。

## Ⅱ 教材作成(1) 「九九フラッシュカード」

ここでは、「九九フラッシュカード」の作成をとおして、パワーポイントの使用法の基礎を学びます。フラッシュカード型教材は、英単語や漢字、百人一首等で活用できます。効率的に知識の定着を図ることが期待できます。

### 1 タイトルスライド（ページ）の作成

タイトル名、サブタイトル文字を入力し、最初のページを作成しましょう。



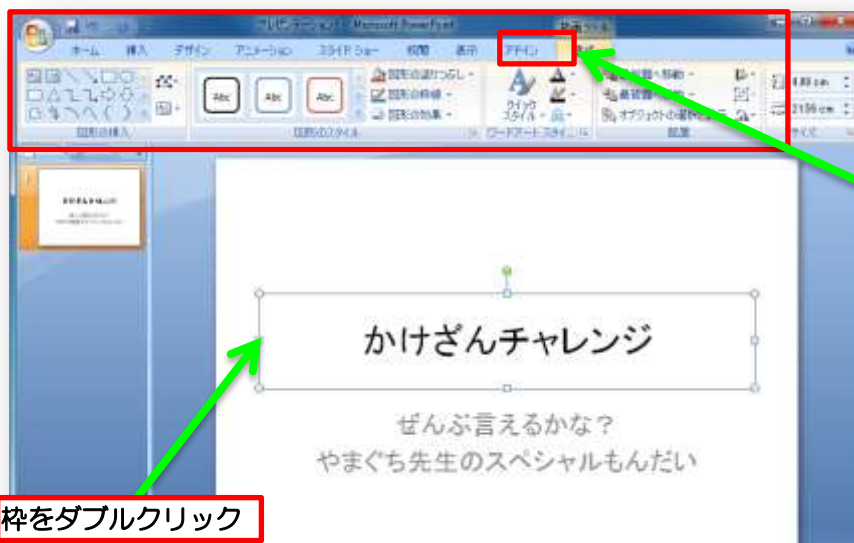
タイトル文字を入れる四角部分「プレースホルダ（タイトル）」をクリックし、教材タイトル「かけざんチャレンジ」を入力します。

サブタイトル文字を入れる部分「プレースホルダ（テキスト）」をクリックし、サブタイトル等を入力します。

文字や画像などを入れる四角部分を「プレースホルダ」と呼びます。



タイトル枠に装飾を行いましょ。



直接「書式」タブをクリックしても、書式モードになります。

枠をダブルクリック

タイトルのプレースホルダの枠をダブルクリックすると、リボンが書式モードになります。

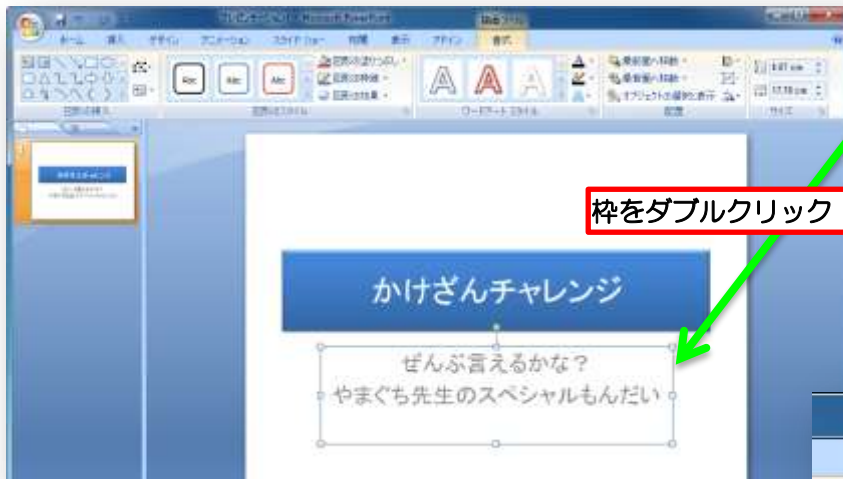
「図形のスタイル」の「▼」。部分をクリックし、図形塗りつぶしメニューを表示させます。



メニュー上のマウスイカーソルの動きに合わせて、枠内の色が変わります。

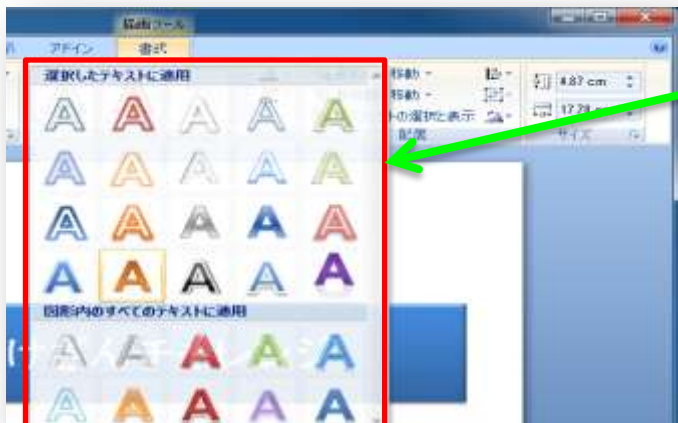
リボンの中にある小さな「▼」や「▼」は重要！

サブタイトル文字に装飾を行いましょう。



サブタイトルのプレースホルダの枠をダブルクリックすると、リボンが書式モードになります。

「ワードアートスタイル」の「▼」。部分をクリックし、ワードアートメニューを表示させます。



メニュー上のマウスイカーソルの動きに合わせて、文字の色が変わります。

タイトルページが完成しました。

変更や修正はいつでも行うことができる！



### 3 プレゼンテーションの保存

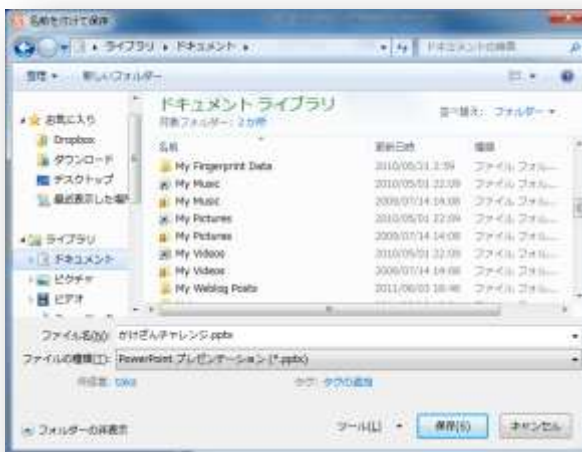
作成したプレゼンテーションを保存しましょう。



作成したプレゼンテーションを保存しましょう。  
コンピュータでは、エラーが突然発生することがあるので、こまめにデータを保存しておく習慣をつけておきましょう。

「Office ボタン」→「上書き保存」の順にクリックしましょう。  
クイックアクセスツールバーの上書き保存アイコンをクリックしても、同じ動作をします。

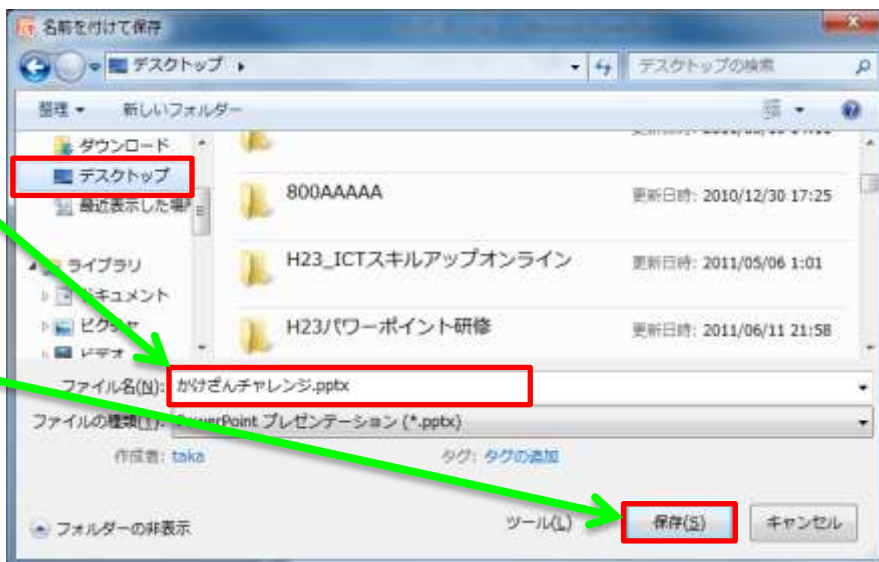
はじめて保存するときは「名前を付けて保存」画面が表示されます。(次回からはすぐに保存されます。)



今回は「デスクトップ」にファイルを保存しましょう。  
ファイル名は自由に入力してください。

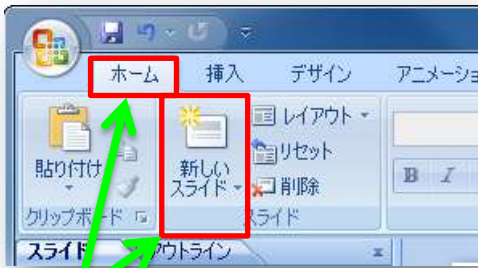
ファイル名を入力したら、「保存」をクリックします。

**保存はこまめに  
しましょう！**



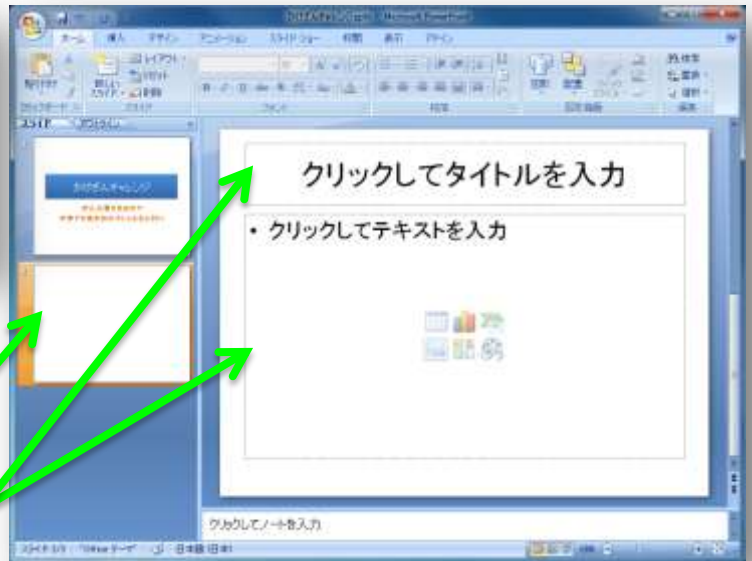
#### 4 問題の作成

新しいスライドを作成しましょう。



「ホーム」タブ→「新しいスライド」の順にクリックすると、新しいスライドが作成され、表示されます。

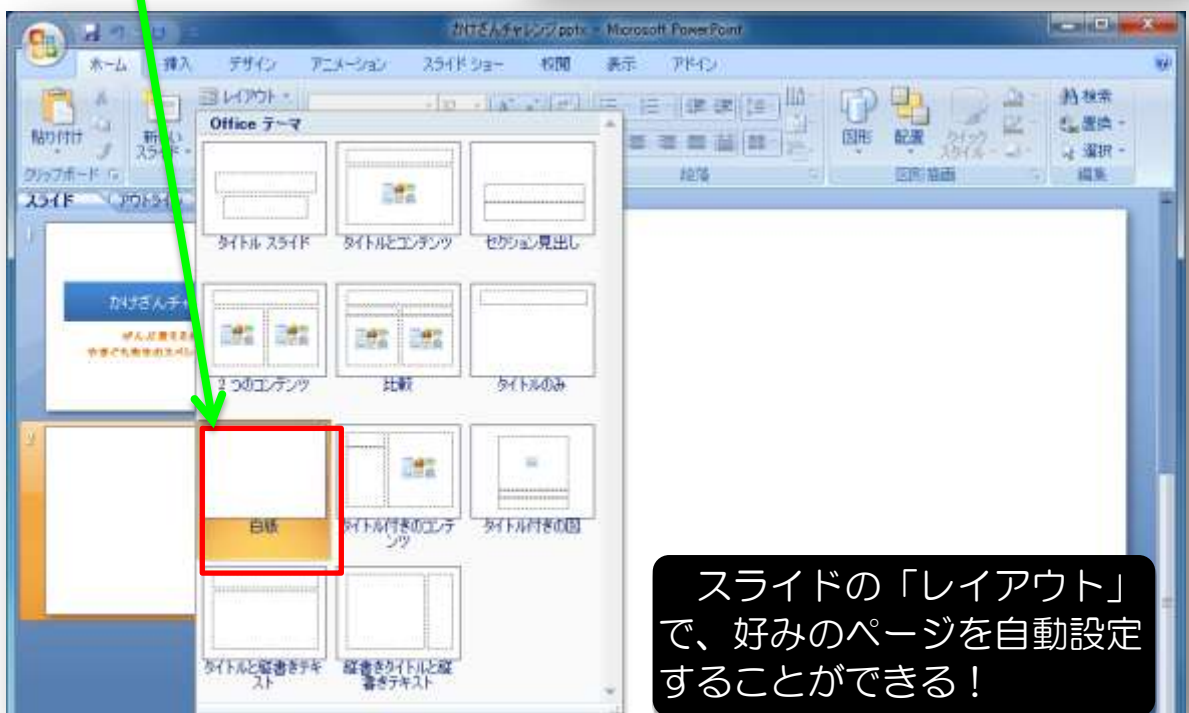
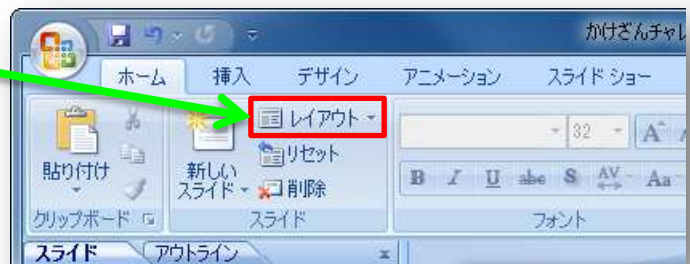
新しいスライドには、自動的にタイトルとテキスト入力のプレースホルダが表示されます。



文字のみを入力するページにするため、「ページレイアウト」を変更しましょう。

「ホーム」タブ→「レイアウト」の順にクリックすると、ページレイアウトの一覧が表示されます。

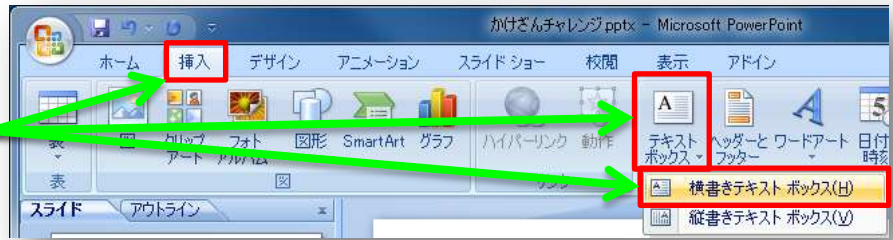
今回は文字のみのページを作成するので、「白紙」をクリックします。



スライドの「レイアウト」で、好みのページを自動設定することができる！

文字を入力しましょう。

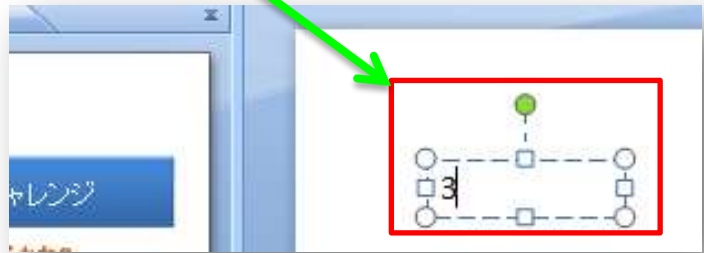
「挿入」タブ→「テキストボックス」→「横書きテキストボックス」の順にクリックします。



マウスの左ボタンを押したまま、4角形を描くように動かします。(ドラッグする)

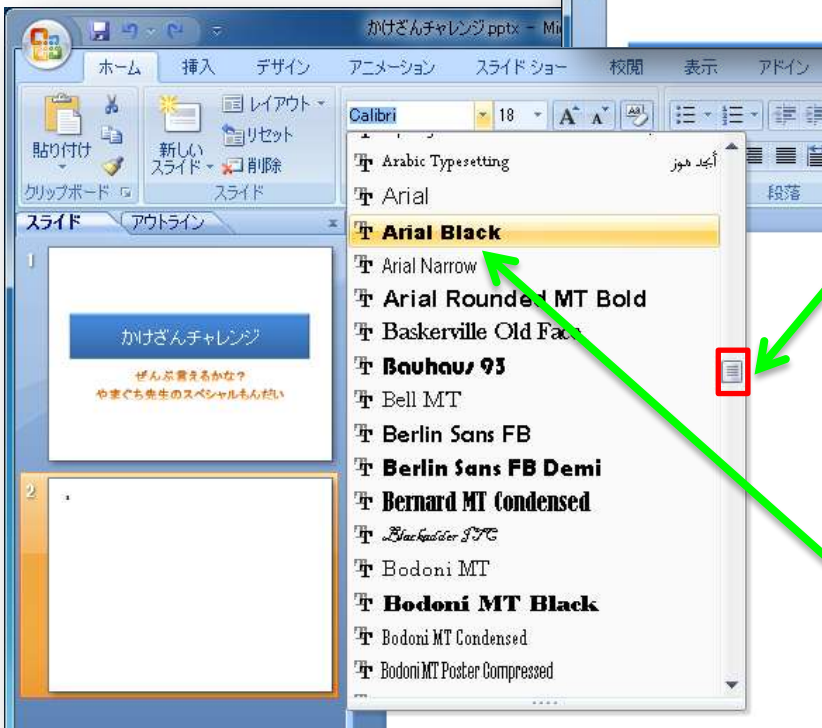
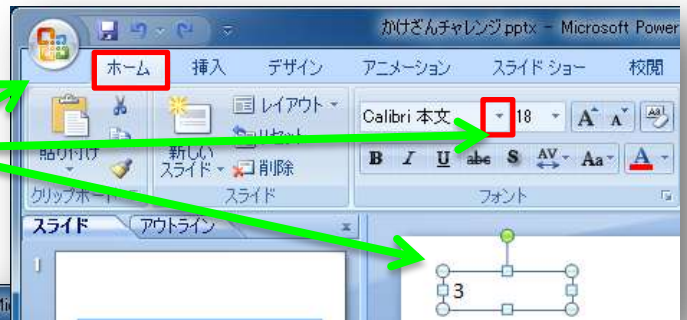


文字入力のできるテキストボックスが表示されるので、半角数字を入力します。今回は一桁の数字を入力してみましょう。



文字フォントや文字の大きさを変更しましょう。

まず、文字フォントを変更します。入力したテキストボックスの枠をクリックした後、「ホーム」タブ→「文字フォント右側の▼」の順にクリックします。



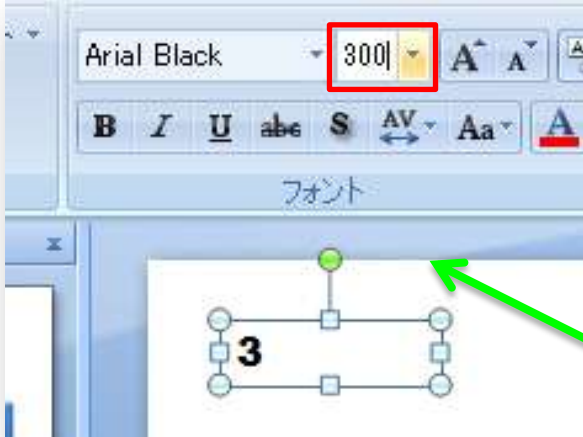
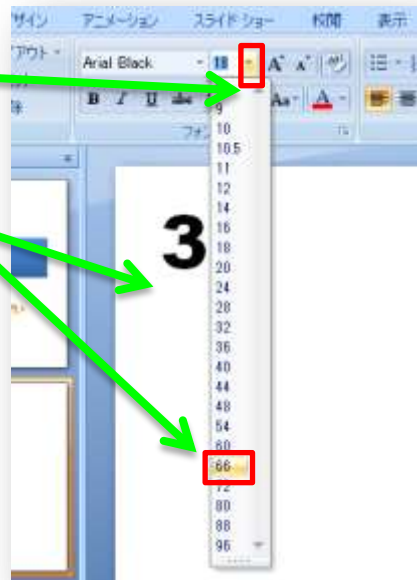
文字フォントの一覧が表示されるので、スクロールバーを上下にドラッグして、好みの文字フォントをクリックします。

今回は文字を大きくするので、太字の半角英数文字フォントを選びましょう。(Arial Black など)

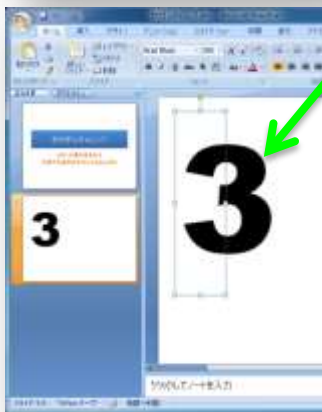


続いて、文字サイズを変更します。  
入力したテキストボックスの枠をクリックした後、「ホーム」タブ→「文字サイズ右側の▼」の順にクリックします。

文字の大きさの一覧が表示されます。  
一覧内の数字の上にマウスカursorを移動すると、自動的に文字の大きさが変わり、確認することができます。



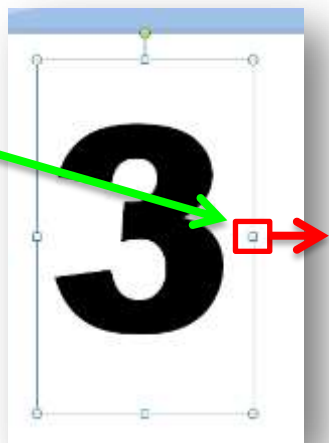
今回は、一覧内にあるものよりさらに大きな文字にするため、枠内に半角文字で直接「300」と入力し、Enter キーを押します。



文字が大きくなりました。

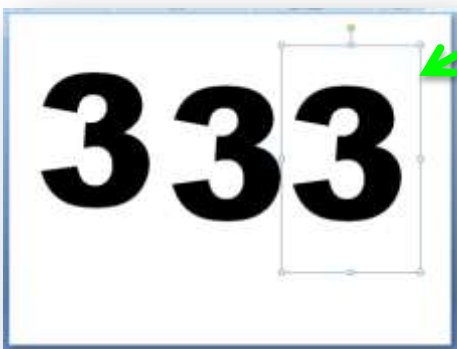
後の操作を楽にするために、テキスト枠右側中央の「○」部をドラッグし、テキスト枠を文字の大きさより少し大きめに広げます。

文字の大きさは直接入力  
で自由に設定できる！



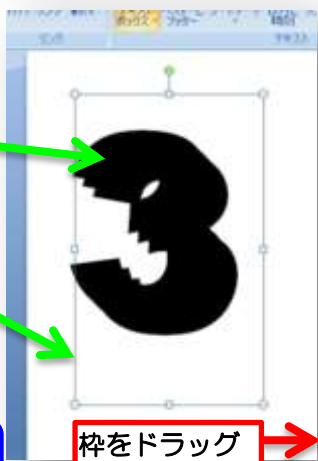
残りの2文字を入力しましょう。

テキスト枠をクリックし、枠を実線表示させた状態で、「Ctrl」キーを押しながら「D」を2度押します。



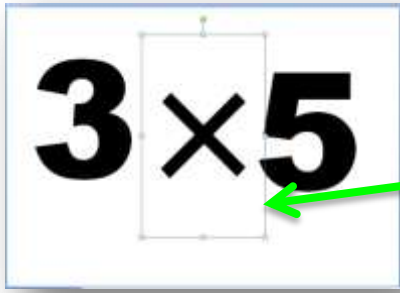
文字が重なったように表示されるので、文字枠をドラッグして移動させます。  
これで、文字のコピーができました。

Ctrlキーを押したまま文字枠をドラッグしてもコピーすることができます。



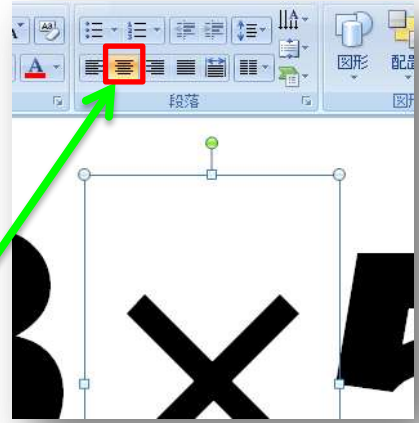
枠をドラッグ

文字や枠のコピー → 貼付は「Ctrl+D」で一発 OK！  
「Ctrl キーを押しながらドラッグ」でも簡単コピー！



かけ算の式になるように残りの文字を入力します。「×」は日本語モードで「かける」と入力して変換しています。太文字フォントに変更するのもよいでしょう。

「×」は文字枠からはみ出しているため、文字枠をクリックし、「ホーム」タブ→「センタリング」アイコンをクリックし、中央揃えをします。

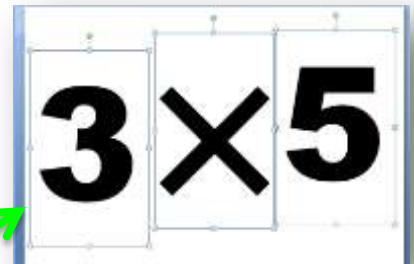


3つの文字枠をきれいに配置しましょう。

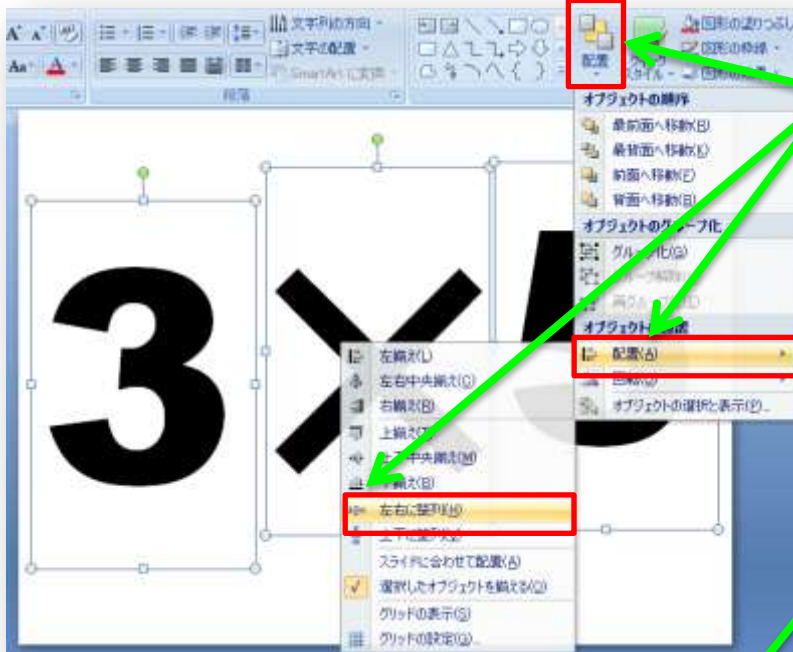


まず、左右端の文字をドラッグし、ページ端に寄せます。中央の文字の位置や文字の上下をそろえる必要はありません。

枠をページ左右端にドラッグ



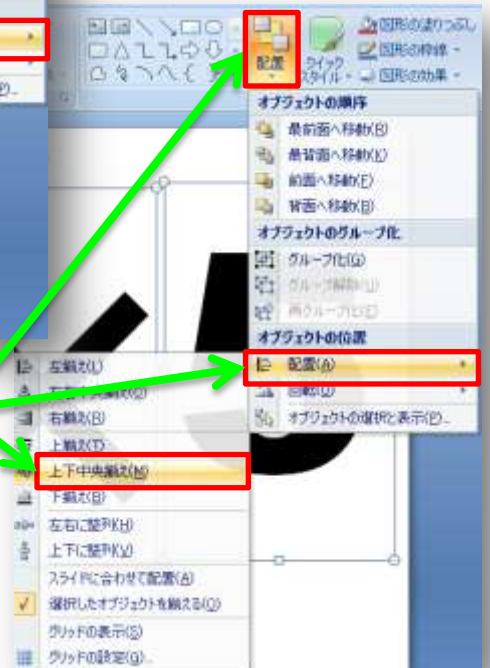
Shift キーを押しながら3つの文字を順にクリックすると、3つの文字が全て選択されます。3つの枠を全て囲む大きな長方形を描くようにドラッグしても、同様に選択できます。



3つの文字を横方向に均等に整列させるため、「ホーム」タブ→「配置」→「配置」→「左右に整列」の順にクリックします。

同様に、3つの文字を上下方向に均等に整列させるため、「ホーム」タブ→「配置」→「配置」→「上下中央揃え」の順にクリックします。

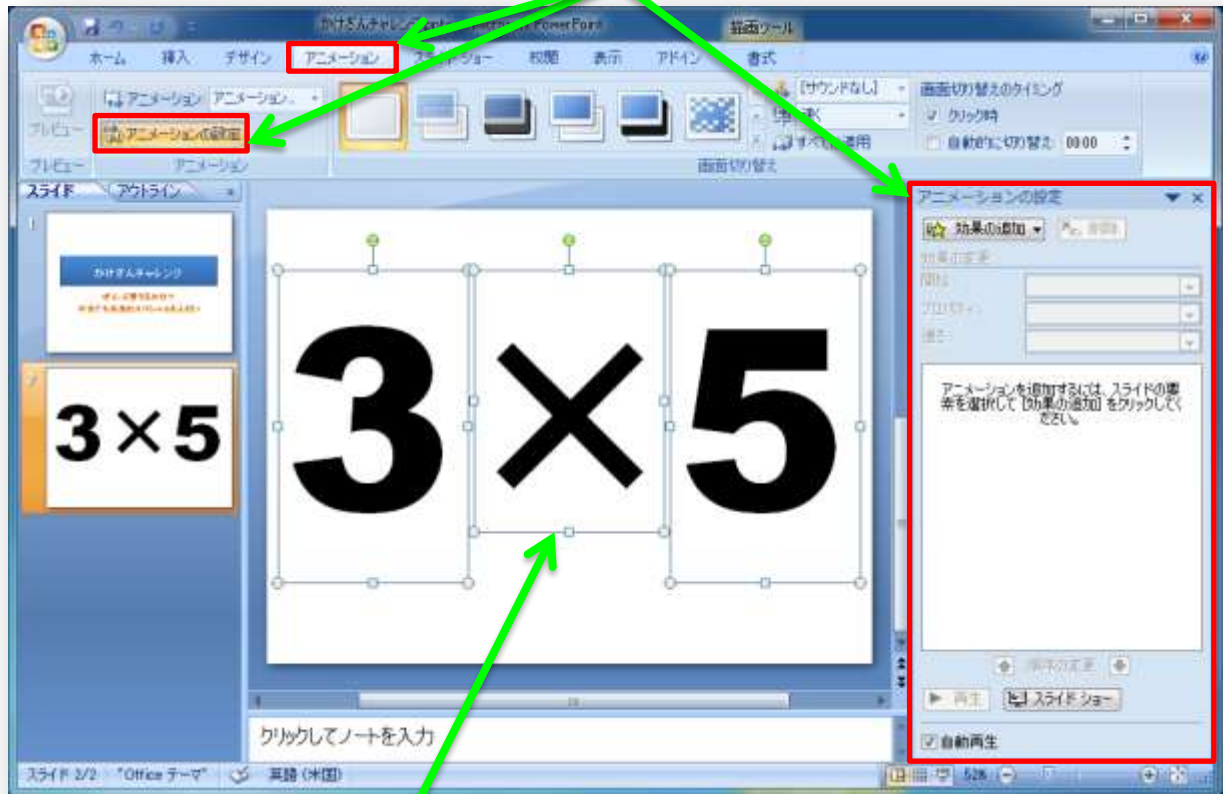
文字や図などの枠を均等に並べるには、「配置」を使う！



文字の表示方法を設定しましょう。

文字がフラッシュカードとして自動的に表示されるように、アニメーション効果を設定しましょう。

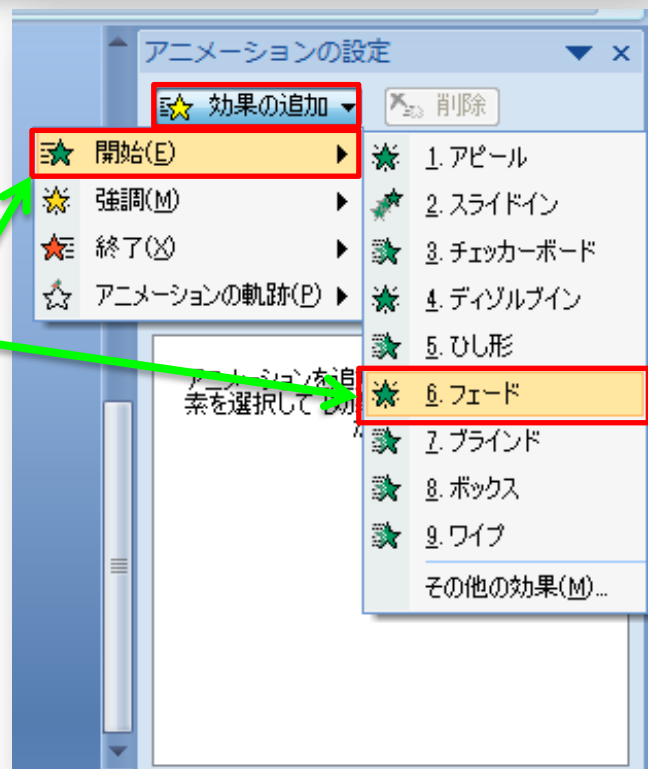
3つの文字枠を選択し、「アニメーション」タブ→「アニメーションの設定」をクリックします。すると、画面右端に「アニメーションの設定」画面が表示されます。



※ 「×」の文字の大きさは「250ポイント」に設定しています。  
(設定方法を覚えていますか?)

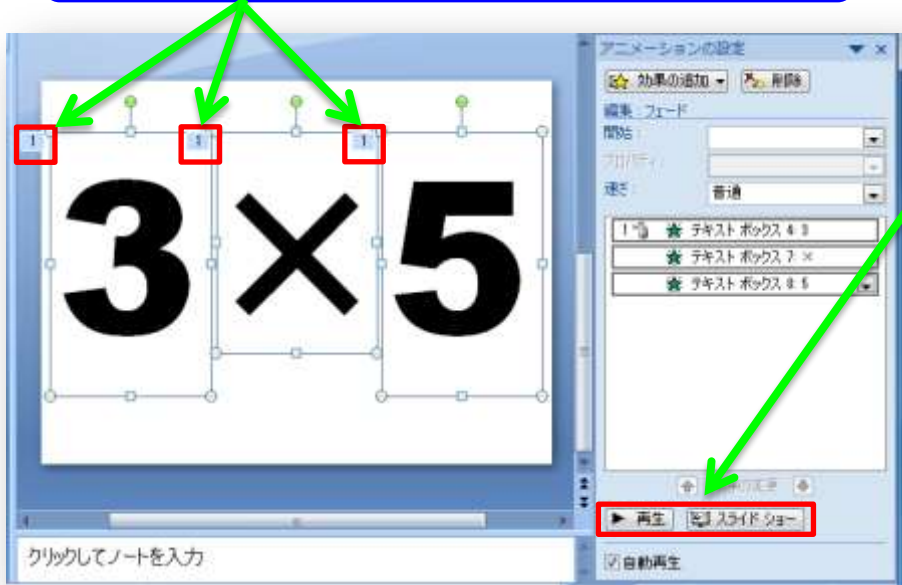
「効果の追加」→「開始」→「フェード」の順にクリックし、アニメーション効果を設定します。  
「フェード」が表示されない時は、「その他の効果」をクリックし、表示されたメニューの中から選択します。

**アニメーション効果**  
開始…登場（出現）時の効果  
強調…表示されている図や文字などの動きの効果  
終了…退場（消える）時の効果  
軌跡…指示したとおりに動く

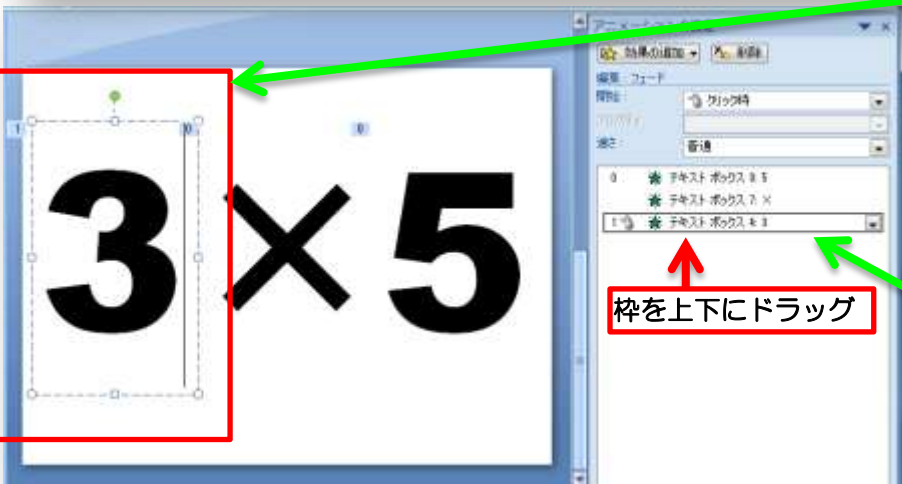




枠にある数字の順にアニメーション効果が実行されます。  
 (下図では全ての枠が「1」…全て同時に実行されます。)

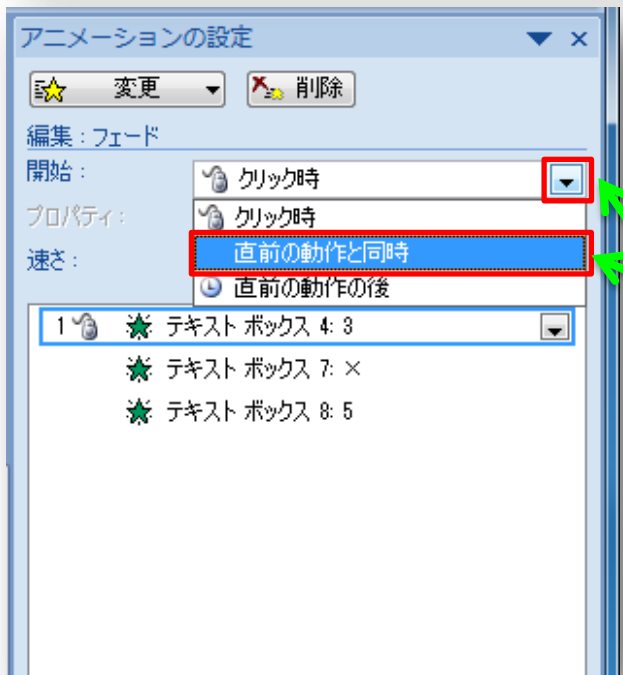


「▶再生」や「スライドショー」をクリックすると、アニメーション効果を確認することができます。(中止する時は、ESCキーを押します)



文字枠をクリックすると、対応するアニメーション効果が表示されます。  
 今回のように、文字枠の場合は、各効果の右端に文字が表示されます。

左から右へ文字が表示されるように、アニメーション効果の枠を上下にドラッグして順序を設定します。



「3」の文字のアニメーション効果を設定します。はじめに、一番上のアニメーション効果をクリックして選択します。

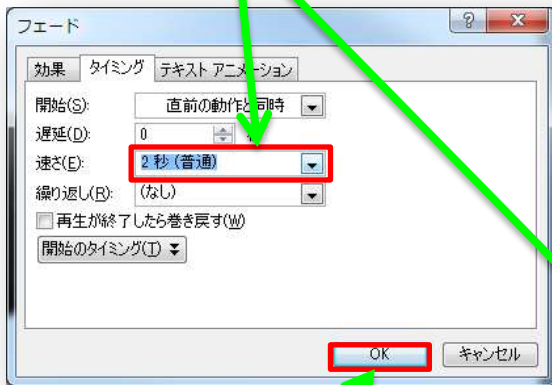
「3」の文字は、画面が切り替わると同時に自動的に表示されるように設定しましょう。  
 「開始」設定枠右端の「▼」→「直前の動作と同時」の順にクリックします。

スライドの開始とともにアニメーションを開始したいときは、「直前の動作と同時」！

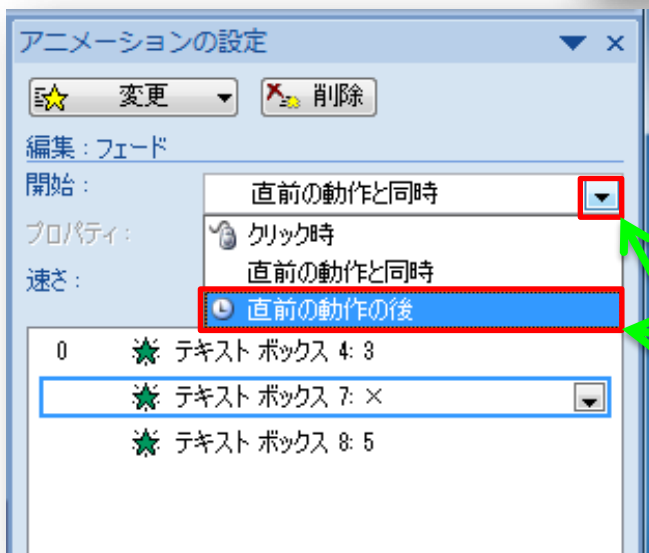
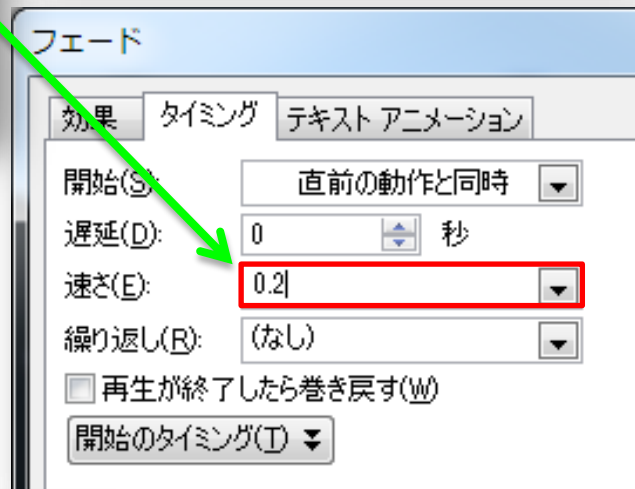
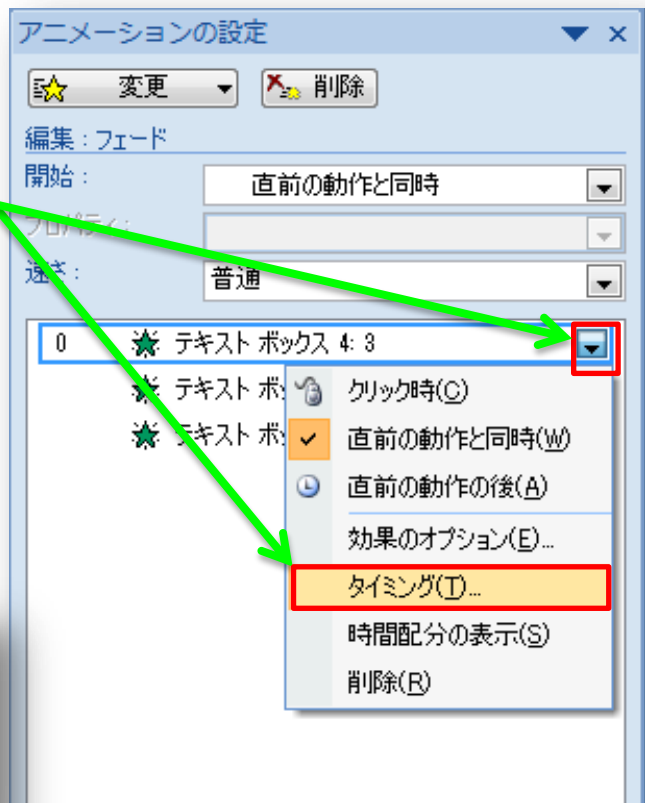


通常はここでアニメーション効果の速さを選択します。  
 今回はフェード効果の時間をできるだけ短くしたいので、詳細設定を行います。  
 アニメーション効果設定右端の「▼」→「タイミング」の順にクリックします。

「フェード」効果設定画面が表示されるので、「速さ」の枠をクリックします。  
 「2秒（普通）」の部分が反転表示されるので、このまま、キーボードから半角文字で「0.2」（0.2秒のことです）と入力します。

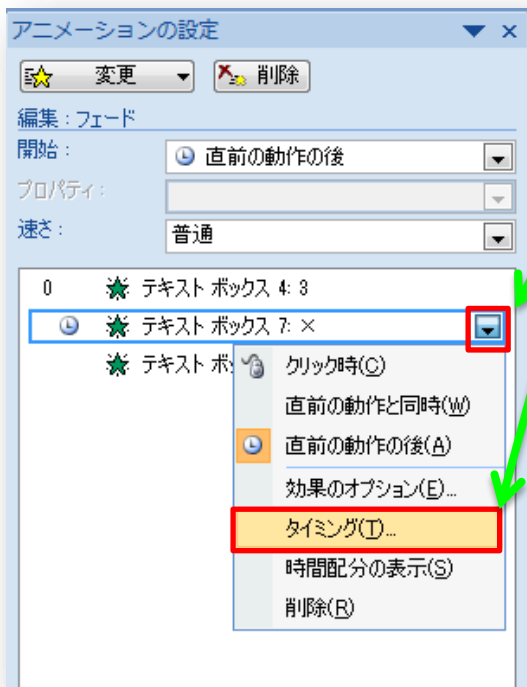


入力後、「OK」ボタンをクリックすると元の画面が表示されるので、「再生」ボタンをクリックして、動作確認をしておきましょう。

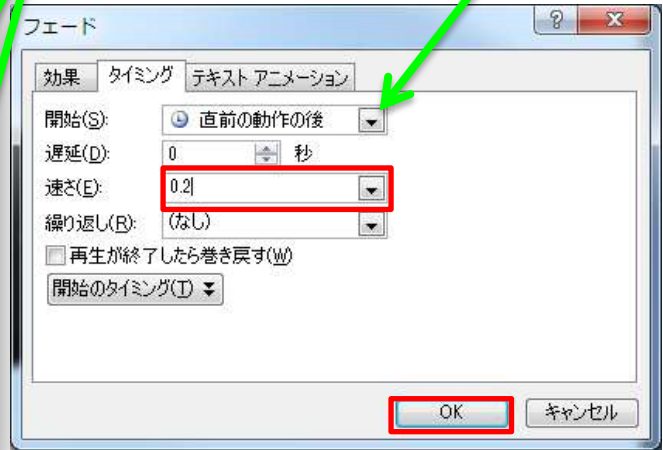


続いて文字「×」のアニメーション効果設定を行います。  
 まず、2番目のアニメーション効果をクリックして選択します。

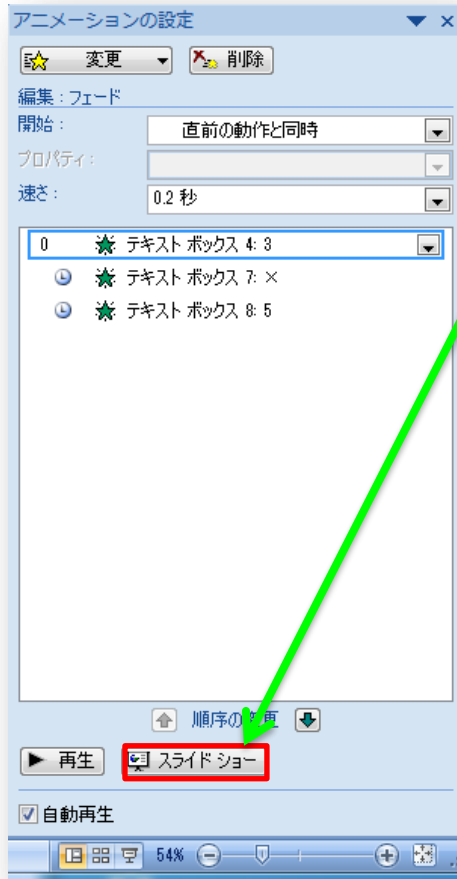
「×」は、「3」の後に続いて自動的に表示させましょう。  
 「開始」設定部分右端の「▼」→「直前の動作の後」の順にクリックします。



引き続き、前回同様アニメーション効果設定右端の「▼」→「タイミング」の順にクリックし、フェード効果の詳細設定を行います。  
 今回も「0.2」を入力しましょう。  
 なお、開始タイミングはここでも設定できます。



「再生」ボタンをクリックして、動作確認をしておきましょう。うまくできていたら、「5」の文字のアニメーション効果を設定します。3番目のアニメーション効果を選択し、今回と同じ方法で設定してみましょう。

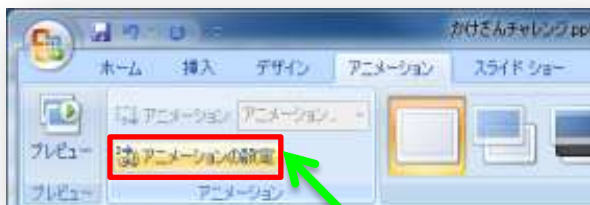


「5」のアニメーション効果設定が終わったら、「スライドショー」をクリックし、実際のスライドのアニメーションを確認しましょう。

スライドショーは「Esc」キーを押せば終了します。実際の画面を見ながらフェードの時間を調整してみましょう。(0.1秒にするなど)



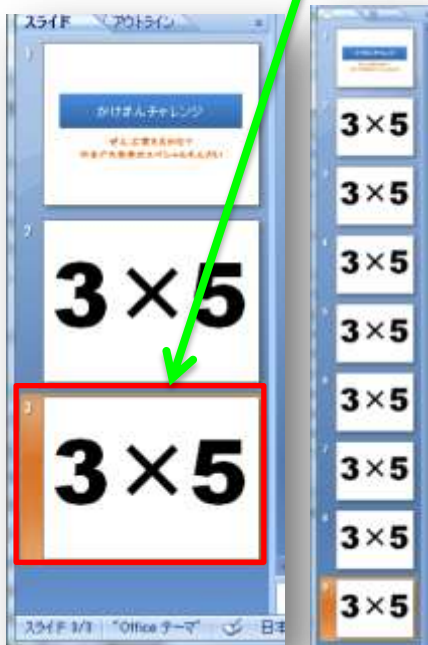
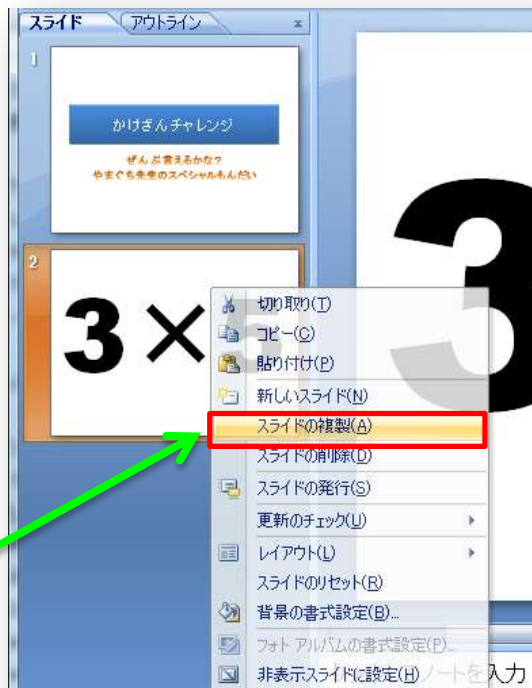
他の問題を作成しましょう。



はじめに、アニメーション効果設定画面を閉じるため、「アニメーションの設定」ボタンをクリックします。

「3×5」のスライドを必要な分だけ複製し、数字だけ変更して問題作成を行います。

「3×5」のスライドをクリックして編集状態にします。スライダー一覧の「3×5」スライドの上で右クリックし、「スライドの複製」をクリックすると、スライドが1枚複製されます。

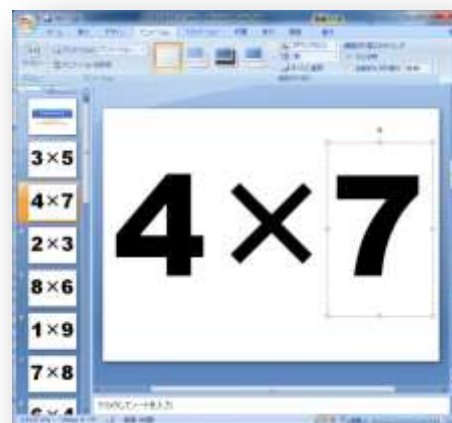


大量にスライドを複製する場合は、windows 標準の「コピー」と「貼り付け」機能を利用すると便利です。まず、「3×5」のスライドをクリックして選択します。次に「Ctrl」と「C」キーを同時に押します。これでこのスライドが記憶されます。(コピー)そして、「Ctrl」キーと「V」キーを同時に押すと複製されます。(貼り付け)「Ctrl+V」を押すたび複製されるので、大変便利です。

Windows では  
Ctrl + C …… コピー  
Ctrl + V …… 貼り付け  
※Ctrl + X …… 切り取り

スライドが複製できたら、半角数字で文字を入力し、問題スライドを作成しましょう。簡単に問題を作成することができます。

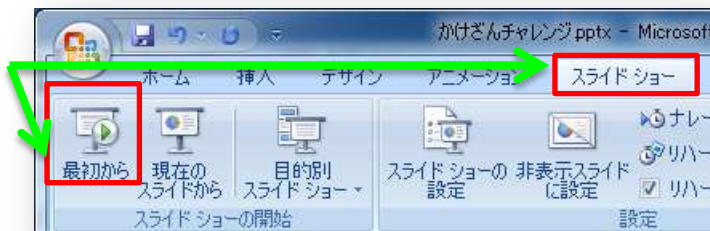
「基本の一枚」をしっかり作れば、後のスライドの作成は簡単！



## 5 プレゼンテーションの仮実行・確認

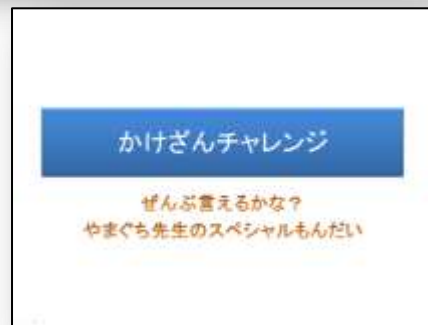
プレゼンテーションを実行してみましょう。

プレゼンテーション実行方法①  
「スライドショー」タブ→「最初から」の順にクリックします。



プレゼンテーション実行方法②  
キーボードの「F5」キーを押します。

ページ切り替えなどプレゼンテーションの動作を進めるには、マウスをクリックするか、「スペース」キーや「Enter」キーを押しましょう。途中で終了する際は「Esc」キーを押しましょう。

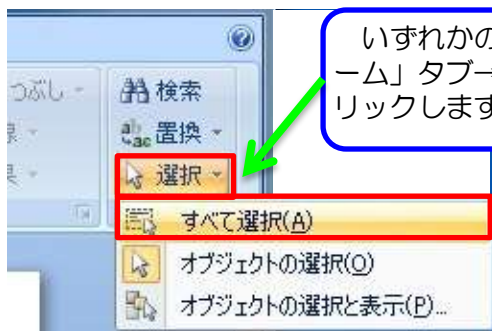


プレゼンテーション実行には「F5」キーが便利！  
途中で終了するには「Esc」キーを押します。

## 6 スライドのアニメーション設定

全ての動作が自動実行されるように設定しましょう。

マウスのクリック等を行わなくても、自動で実行できるようにプレゼンテーションを修正しましょう。



いずれかのスライドをクリックした状態で、「ホーム」タブ→「選択」→「すべて選択」の順にクリックします。

全てのスライドが選択された状態になっていることを確認します。



「アニメーション」タブをクリックし、画面切り替え効果を選択します。フラッシュカードの画面切り替えに適したものを選び、クリックしましょう。



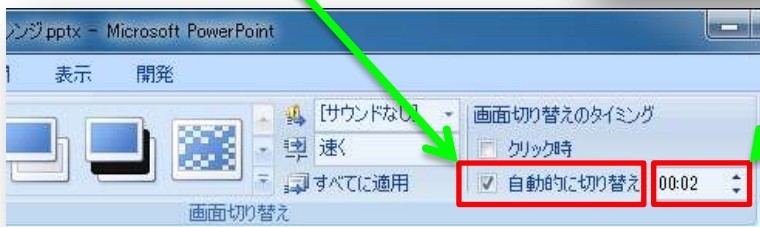
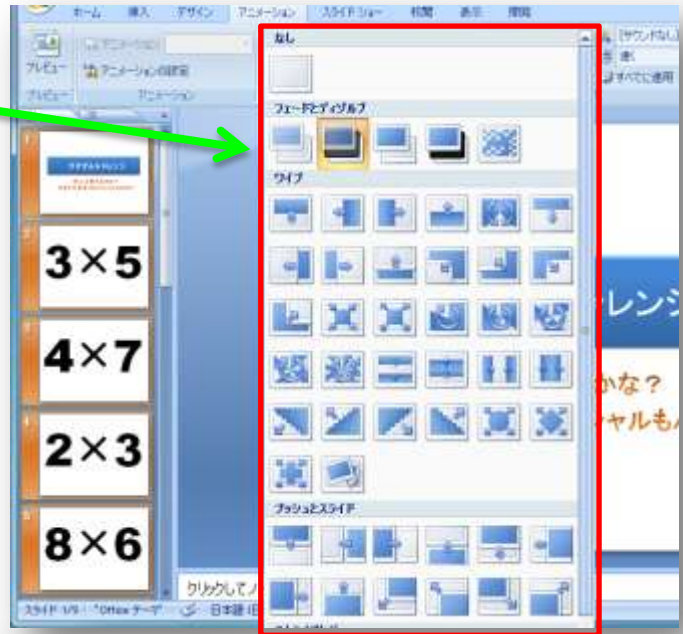
画面切り替え効果表示画面右下の「▼」アイコン（その他）をクリックします。



画面切り替え効果の一覧が表示され  
ます。マウスマウスカーソルをアイコンの上に置  
くと、効果を確認することができます。

多彩なスライドの切り替え  
効果は「アニメーション」リボ  
ンで設定！

スライドが自動的に切り替えられ  
るように、「画面切り替えタイミ  
ング」の「自動的に切り替え」  
にチェックを入れます。

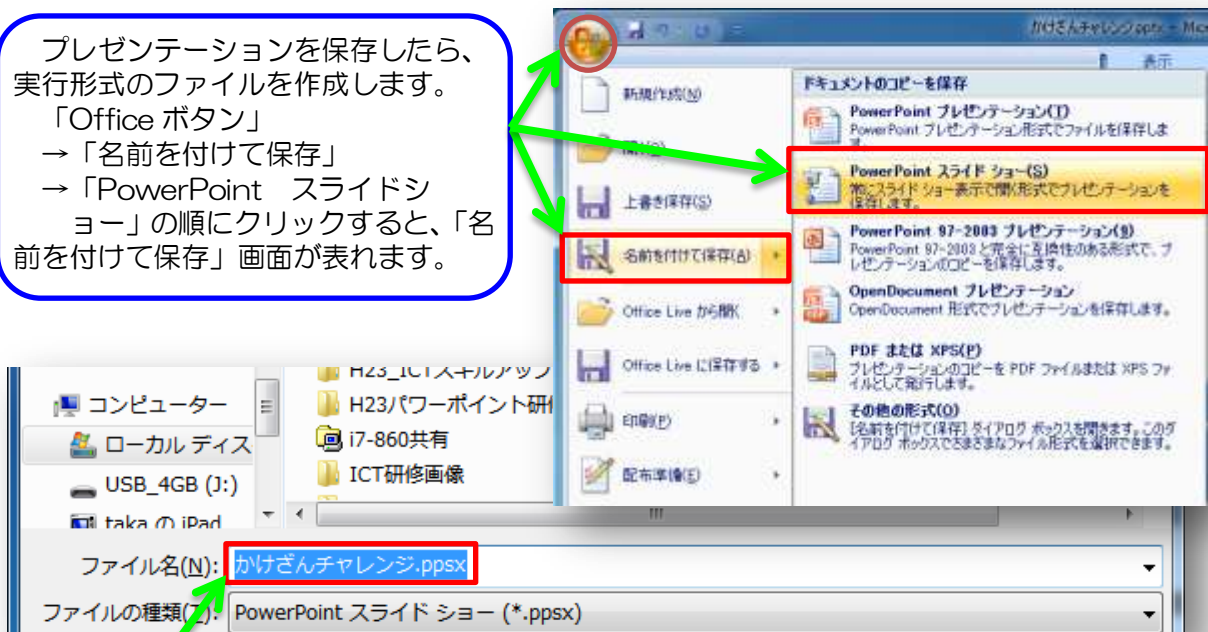


スライド 1 枚の表示時間は、  
時間枠右端の「▼」「▲」をクリ  
ックするか、半角数字を直接枠  
内に入力して設定します。

## 6 自動実行プレゼンテーションの作成

全ての動作が自動化されたプレゼンテーション形式のスライドショーを作成しましょう。

プレゼンテーションを保存したら、  
実行形式のファイルを作成します。  
「Office ボタン」  
→ 「名前を付けて保存」  
→ 「PowerPoint スライドシ  
ョー」の順にクリックすると、「名  
前を付けて保存」画面が表示さ  
れます。



作成したプレゼンテーションと同じ名前  
のようですが、よく見ると拡張子（ファイル  
名の最後の英文字部分）が「**pps**x」（ス  
ライドショー形式）です。（通常のプレゼン  
テーションは「**ppt**x」）です。

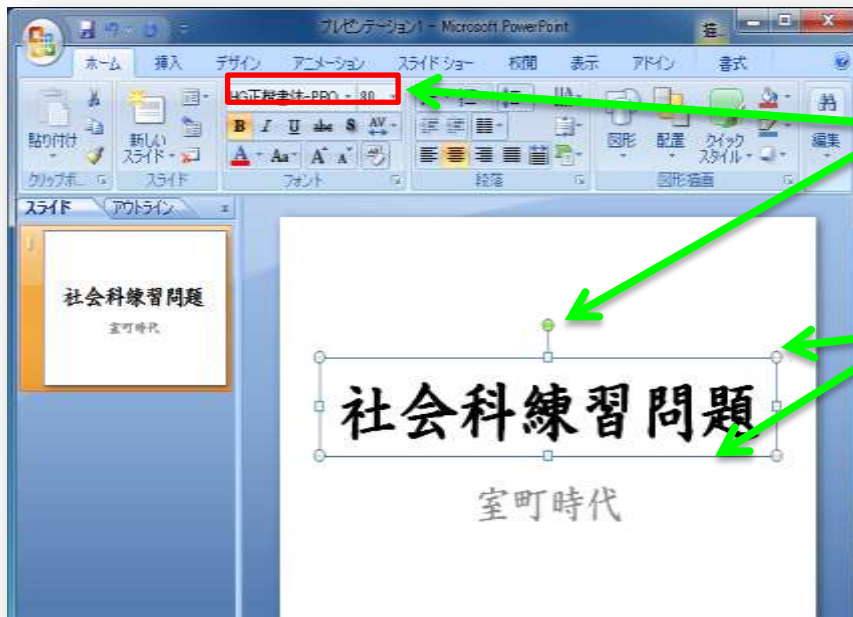
この形式で作成したファイルは、ダブルク  
リックするといきなりスライドショーが始  
まるので、「開始前に子どもたちに問題を見  
られなくて済む！」という大きな利点があり  
ます。

### Ⅲ 教材作成(2) 「3 択問題」

「3 択問題」の作成をとおして、ハイパーリンクの利用方法を練習します。よく見かけるプレゼンテーションは、紙芝居のようにスライドの順に沿って行われますが、「ハイパーリンク」を使うと・・・

#### 1 タイトルスライド（ページ）の作成

先程の研修の復習です。タイトルスライドを作成しましょう。



この例では、タイトル、サブタイトルともに「HG 正楷書体 Pro」を使っています。お好みの文字フォントをご利用ください。

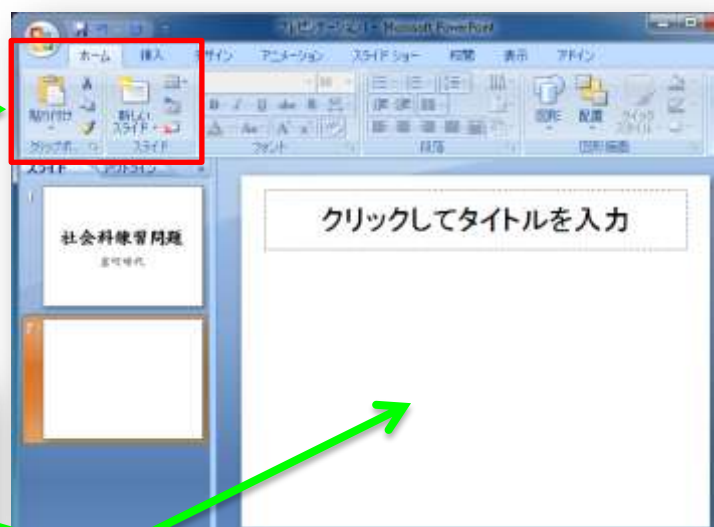
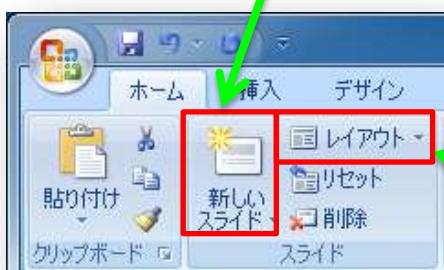
タイトルに「社会科練習問題」、サブタイトルに「室町時代」と入力します。

やり方を忘れてしまった場合は、テキスト3ページを参照してください。

#### 2 問題ページの作成

問題文スライドに文字を入力しましょう。

「ホーム」リボン  
→「新しいスライド」や、「右クリックメニュー」  
→「新しいスライド」等を利用して新しいスライドを作成します。

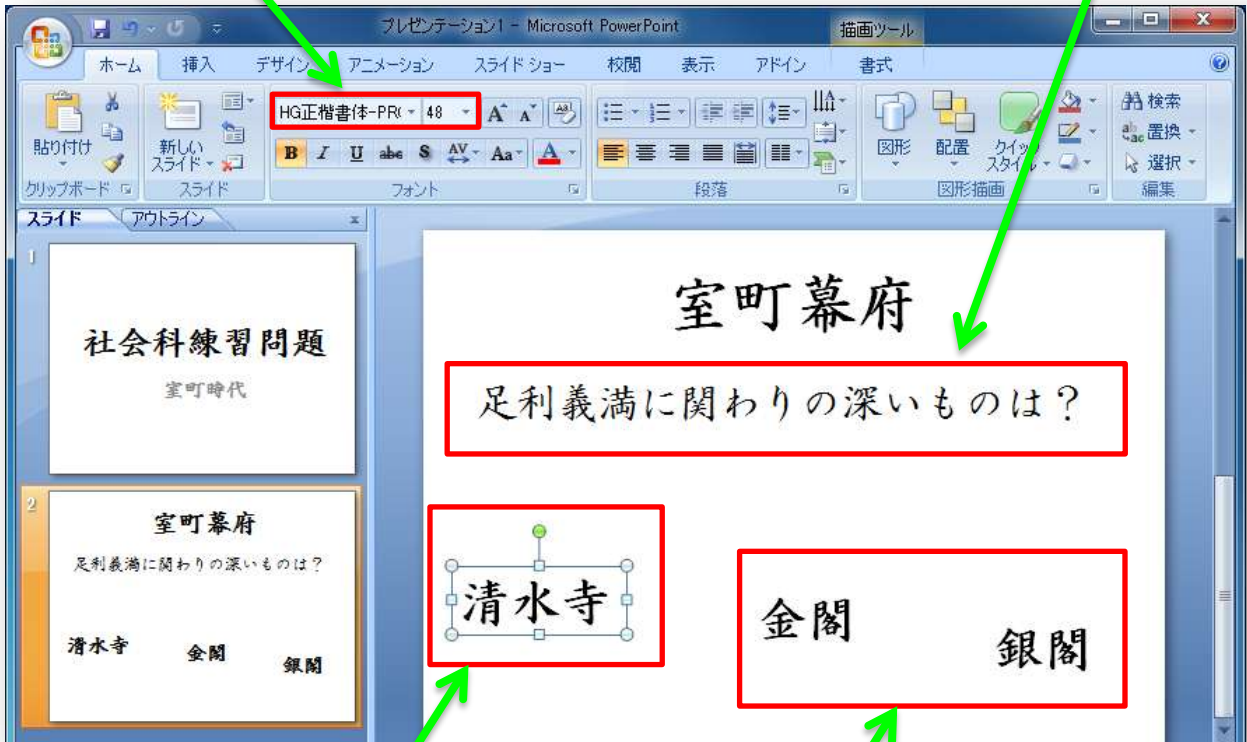


スライドの「レイアウト」は「タイトルのみ」に設定します。

問題本文、選択肢を「横書きテキストボックス」で入力します。  
 ※「挿入」→「テキストボックス」→「横書きテキストボックス」

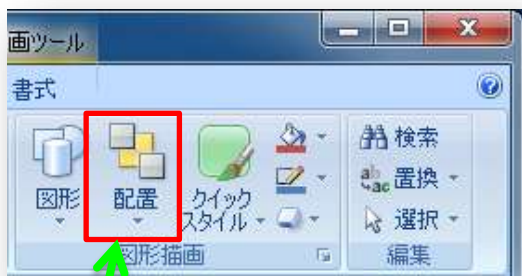
文字フォントは全て「HG 正楷書体 Pro」に設定しています。(お好みのフォントで構いません。文字の大きさは、タイトル…60、問題文…40、選択肢…48 に設定しています。)

問題文「足利義満に関わりの深いものは？」を入力します。



選択肢は、はじめの文字枠を入力し(例：清水寺)、フォントの設定等を済ませてから、「Ctrl+D」や「Ctrl+ドラッグ」で文字枠をコピーします。

コピーした文字枠に、他の選択肢「金閣」「銀閣」の文字を入力します。



3つの選択肢をきれいに整列させましょう。はじめに、「Shift」キーを押しながら3つの文字枠をクリックし、すべての文字枠を選択します。

「ホーム」タブ→「配置」→「配置」→「左右に整列」と  
 「ホーム」タブ→「配置」→「配置」→「上揃え」(下揃え)を行うと、3つの文字枠がきれいに整列します。

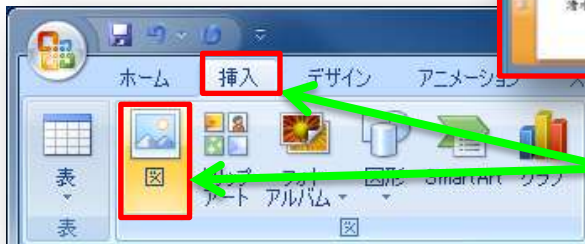
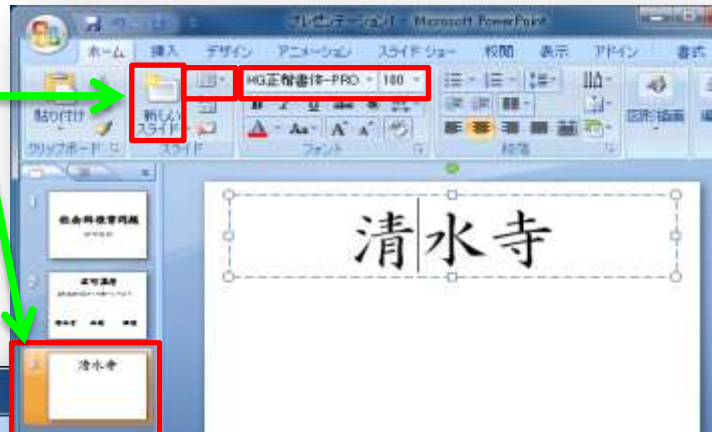




### 3 解答ページ「清水寺」の作成

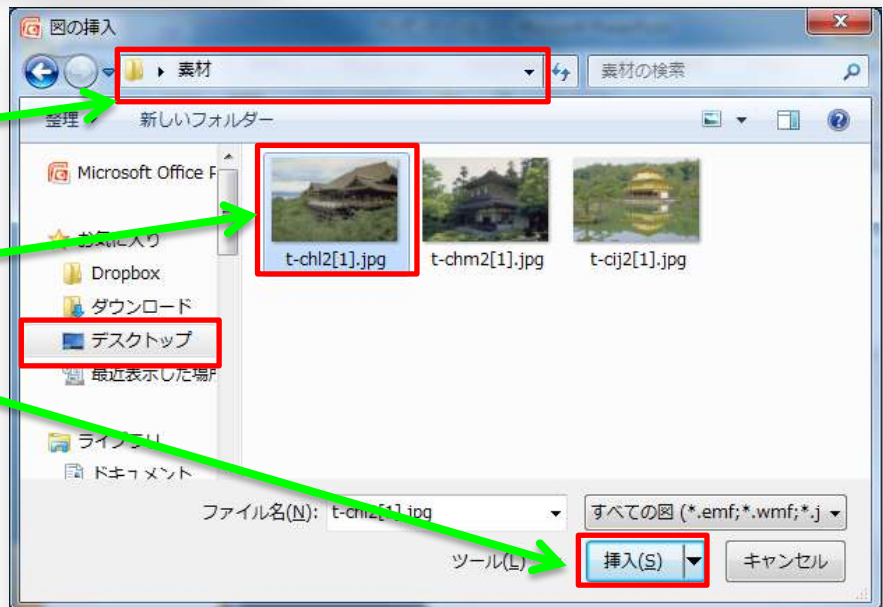
清水寺の画像を入れたスライドを作成しましょう。

新しいスライドを作成し、レイアウトを「タイトルのみ」に設定します。  
タイトル名「清水寺」を入力し、文字サイズを100ポイント程度にします。



スライドに清水寺の画像を挿入しましょう。はじめに「挿入」タブ→「図」の順にクリックします。

「図の挿入」画面では、「デスクトップ」→「素材フォルダ」の順にクリックします。

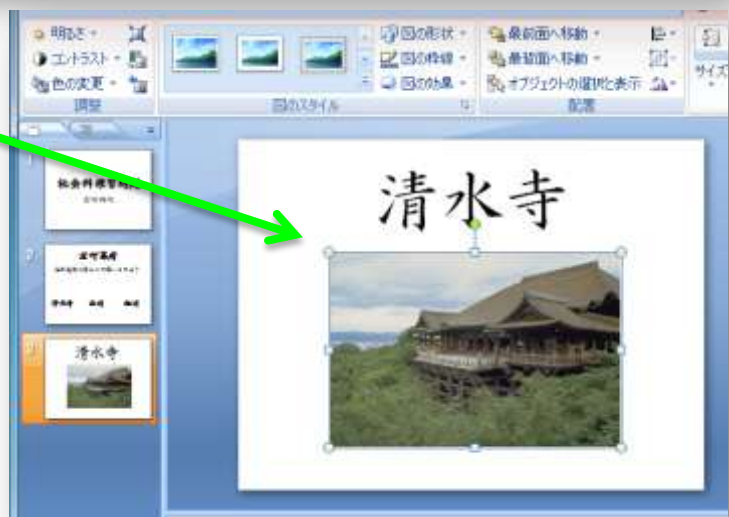


清水寺の画像をクリックして選択します。

「挿入」をクリックします。

「清水寺」の画像が挿入されました。画像中央部分をマウスでドラッグして、適切な位置に画像を移動しましょう。

画像の挿入は、「挿入」→「図形」！

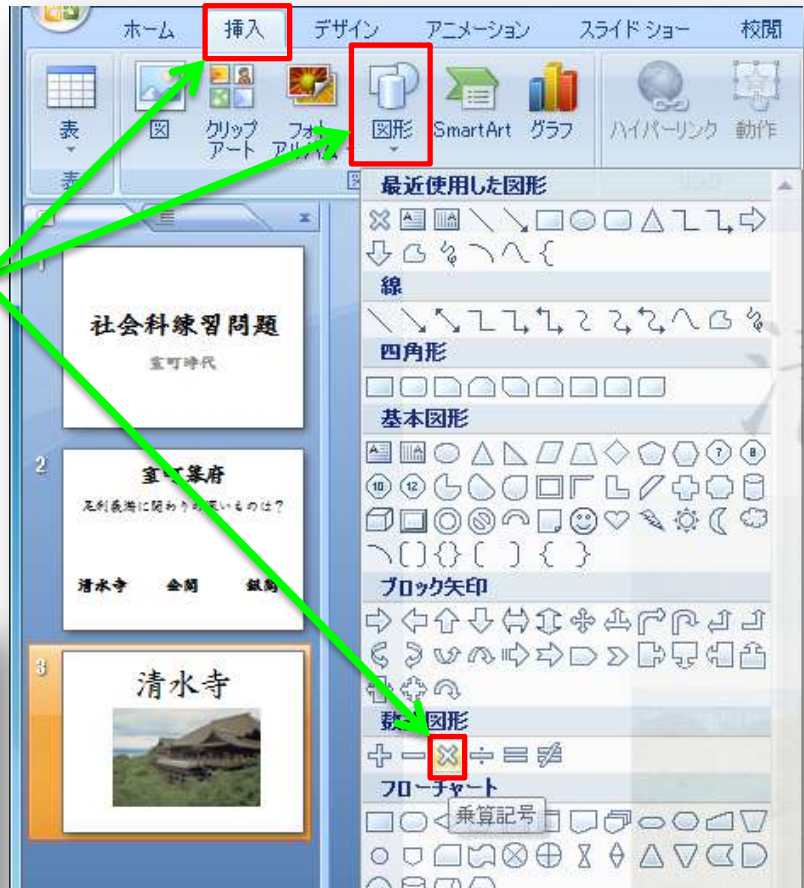




「清水寺」は誤答なので、大きな「×」を入力しましょう。

今回は「×」の形の図形を使用します。「挿入」タブ→「図形」→「×」の順にクリックします。

縦横同じ長さの「×」を描くために、「Shift」キーを押したまま、マウスをドラッグし、スライドいっぱいの「×」を描きます。



「ホーム」→「配置」→「配置」→「上下中央揃え」、「左右中央揃え」で「×」をスライドの中央に設置します。

**正多角形や正円を描く時は、「Shift」を押したままドラッグ！**

「×」をダブルクリックすると、「書式」リボンになります。「×」の描画を設定するために、「図の塗りつぶし」右下の「▼」をクリックします。



図形の塗りつぶしスタイルが表示されるので、好みのものを選びましょう。

アイコンの上にマウスカursorを移動させると、自動的に「×」の色が変わるので便利です。

好みの色がメニューにない場合は、後から変更することができます。

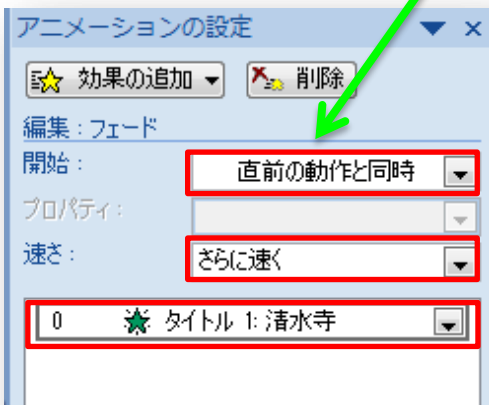
画像のアニメーション効果を設定しましょう。

「タイトル文字」→「清水寺画像」→「×」の順に自動実行されるようにアニメーション効果を設定しましょう。「アニメーション」タブ→「アニメーションの設定」の順にクリックし、アニメーション設定画面を開きます。



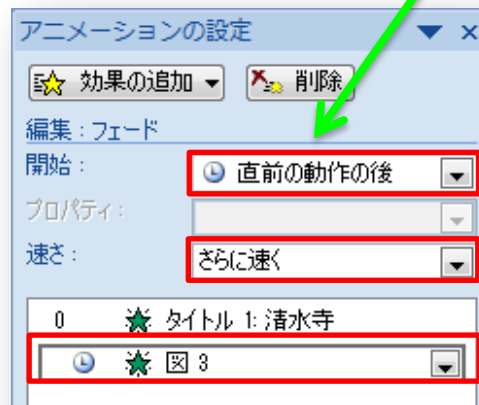
タイトル「清水寺」

- 効果は「開始」→「フェード」
- 開始は「直前の動作と同時」
- 速さは「さらに速く」



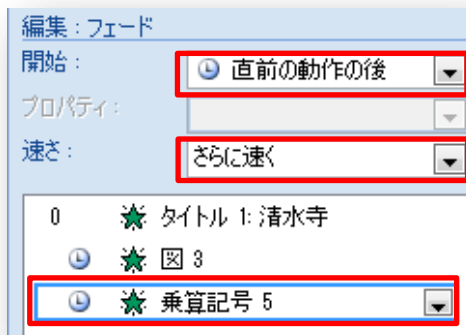
「清水寺」の画像

- 効果は「開始」→「フェード」
- 開始は「直前の動作の後」
- 速さは「さらに速く」

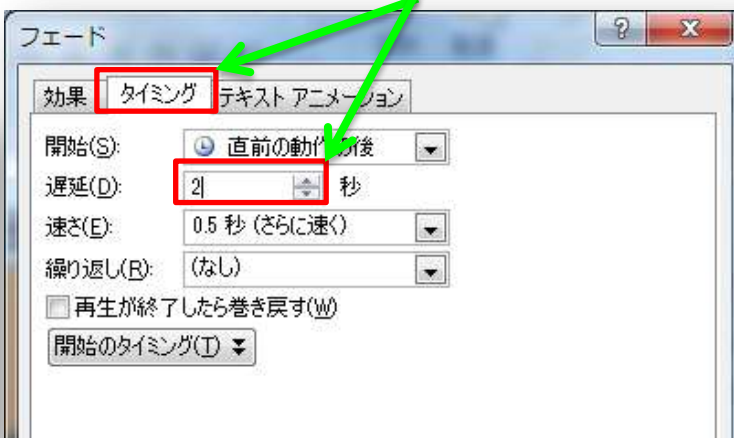


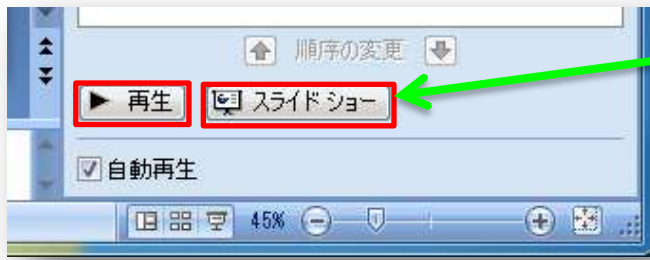
「×」

- 効果は「開始」→「フェード」
- 開始は「直前の動作の後」
- 速さは「さらに速く」



さらに「×」のアニメーションは、画像が表示されて2秒後に表示されるよう「タイミング」を設定します。





一通り設定を終えたら、「再生」や「スライドショー」をクリックしてアニメーション効果を確認しましょう。  
 思い通りの効果が得られるよう、アニメーション効果を変更してみましょう。  
 音（サウンド）を入れるのも効果的です。

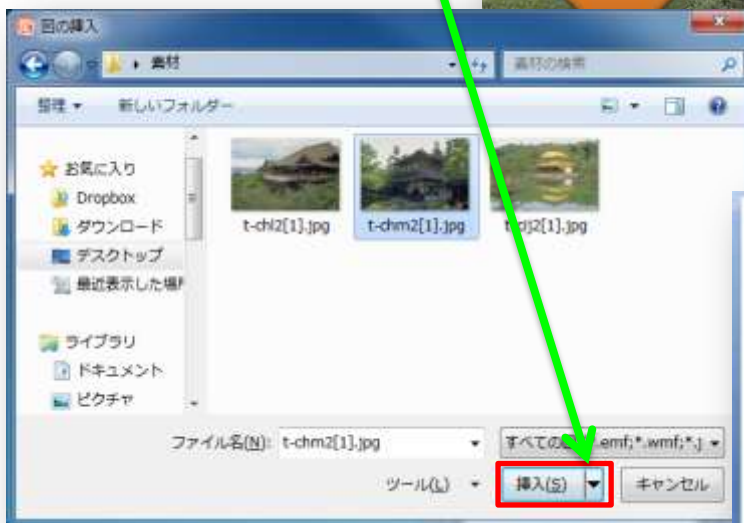
#### 4 他の解答ページの作成

「銀閣」の解答ページを作成しましょう。

「スライドの上で右クリック」→「スライドの複製」、または「Ctrl+C」→「Ctrl+V」でスライドの複製を作成します。  
 スライドを2ページ複製します。（金閣&銀閣）

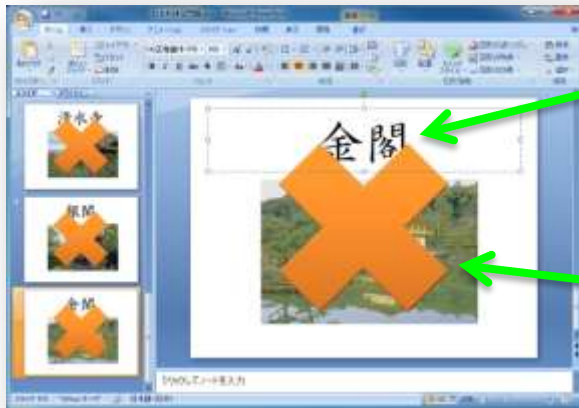
「銀閣」ページは清水寺の画像を銀閣の画像に変更する程度でできあがりです。清水寺の画像をクリックして選択し、「画像の上でマウス右クリック」→「図の変更」をクリックします。

「図の挿入」画面が表示されるので、銀閣の画像をクリックして反転させます。





「金閣」の解答ページを作成しましょう。

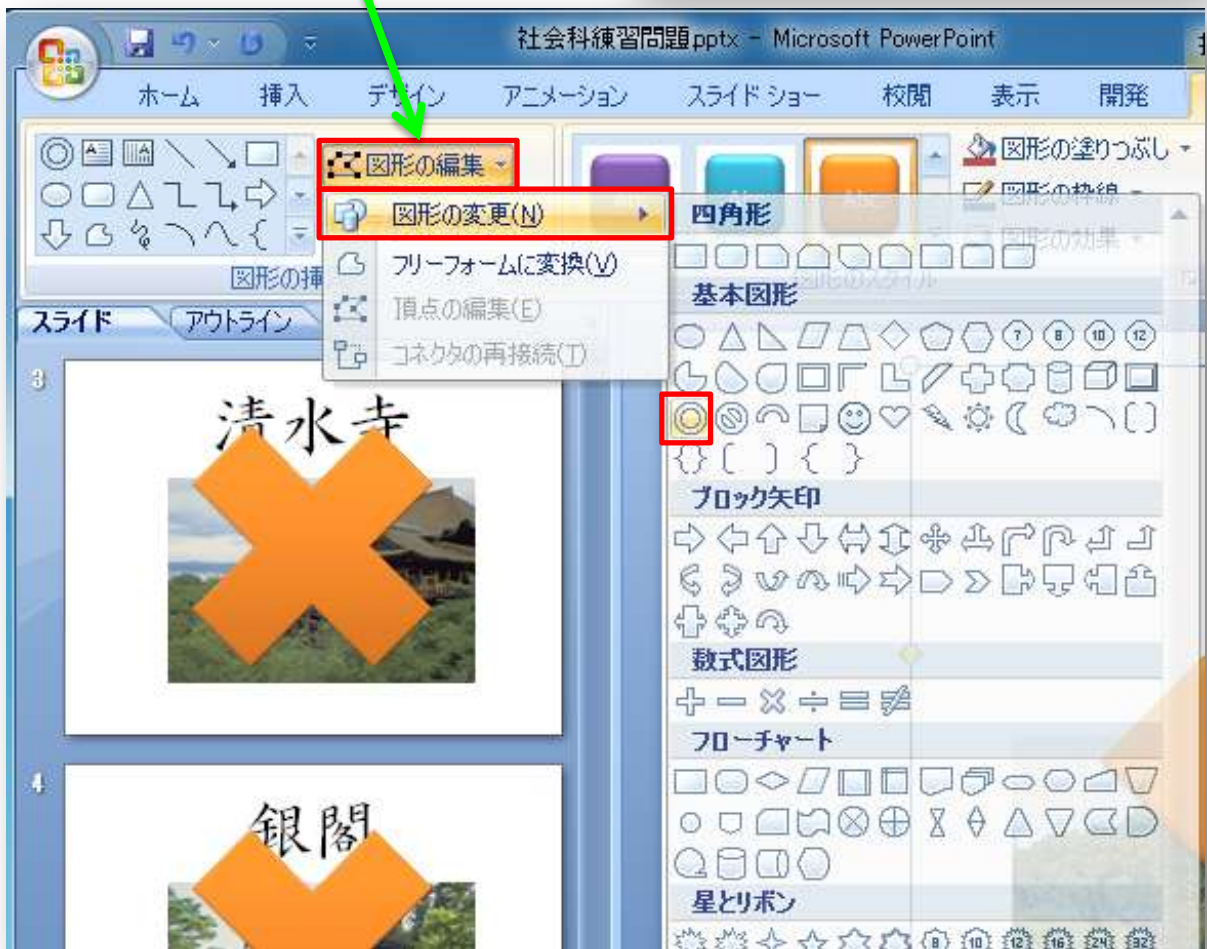


タイトル文字を「金閣」に変更しましょう。

金閣も銀閣と同様に行います。  
「清水寺の画像上で右クリック」  
→「図の変更」で、金閣の画像を表示させます。

金閣は正答なので、「X」を「O」に変更しましょう。  
まず、「X」上でダブルクリックし、「書式」リボンを表示させます。

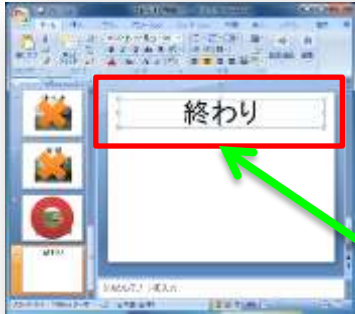
「図形の編集」→「図形の変更」  
→「O（ドーナツ）」の順にクリックします。





「×」が「O（ドーナツ）」に変わりました。

塗りつぶしの色も変更しておきましょう。余裕があれば、音も変更しておきましょう。



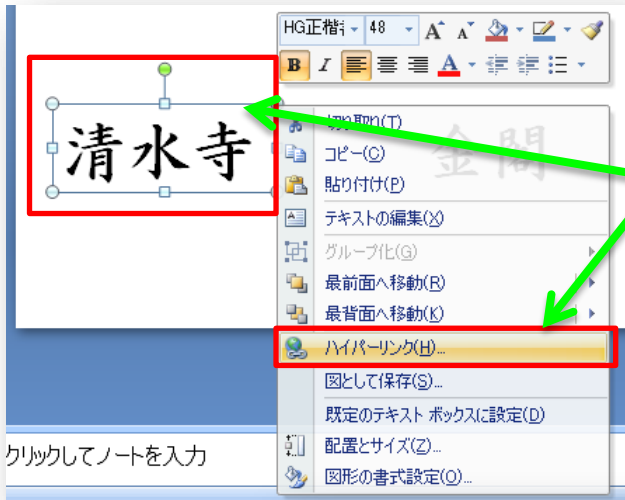
これで選択肢の画面も完成しました。後の作業に備えて、タイトルに「終わり」と入力しただけの、空のスライドを作成しておきましょう。

画像や図形を変更するには、「新規に挿入」ではなく、「変更」で！

### 5 選択肢からのリンクの設定

問題スライドの選択肢からのリンクを設定しましょう。

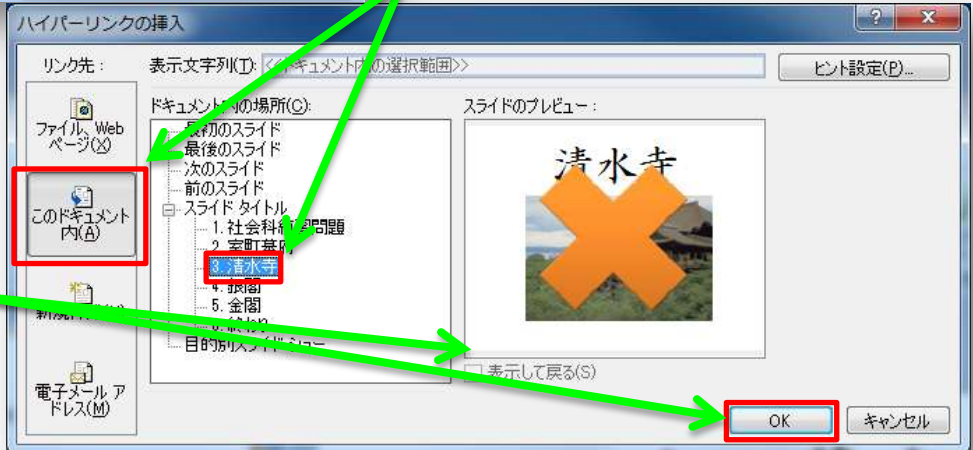
問題スライドの選択肢をクリックすると、各判定スライドが自動的に開くように、「ハイパーリンク」を設定します。この設定は、「清水寺」「金閣」「銀閣」の角文字列に対して行います。



問題スライドを開き、「清水寺」文字列をクリック→破線の枠をクリック→実線枠の上で右クリック→「ハイパーリンク」をクリックの順に操作します。

ハイパーリンク挿入設定を行います。  
・リンク先…「このドキュメント内」  
・ドキュメント内の場所…「清水寺」をマウスでクリックして設定します。

スライドのプレビュー部分でリンク先を確認することができます。よければ「OK」をクリックします。



選択肢が分かりやすいように文字枠を設定しましょう。

各選択肢の枠に色を付け、ボタンのようにしましょう。分かりやすいスライドになります。  
文字枠をダブルクリック→図形のスタイルの選択右下の「▼」をクリック→一覧から好みのものを選択の順で文字枠を塗りつぶします。

以上で問題スライドのハイパーリンク設定が完成しました。「スライドショー」で動作確認をしましょう。(終了は「Esc」)



## 6 選択肢スライドのハイパーリンク設定

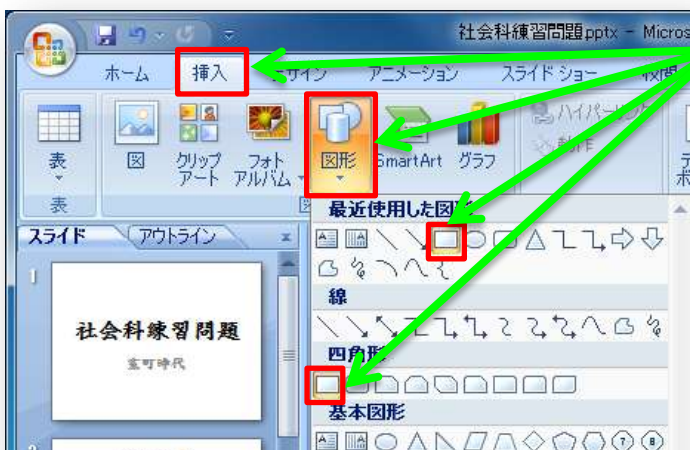
選択肢スライドからの動作を設定しましょう。



「X」のスライド…問題画面に戻る。  
「O」のスライド…「終わり」に進む。  
というように、各スライドのハイパーリンクを設定しましょう。

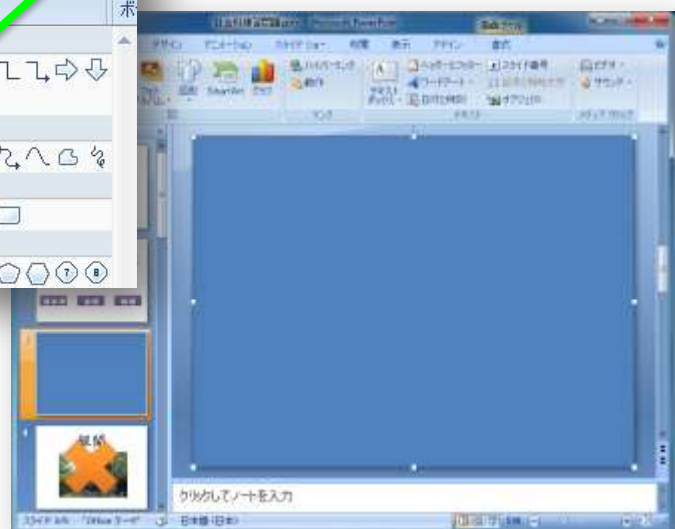
今回は、画面の任意の場所をクリックすれば、ハイパーリンクが動作するように設定します。

「清水寺」スライドのハイパーリンクを設定しましょう。

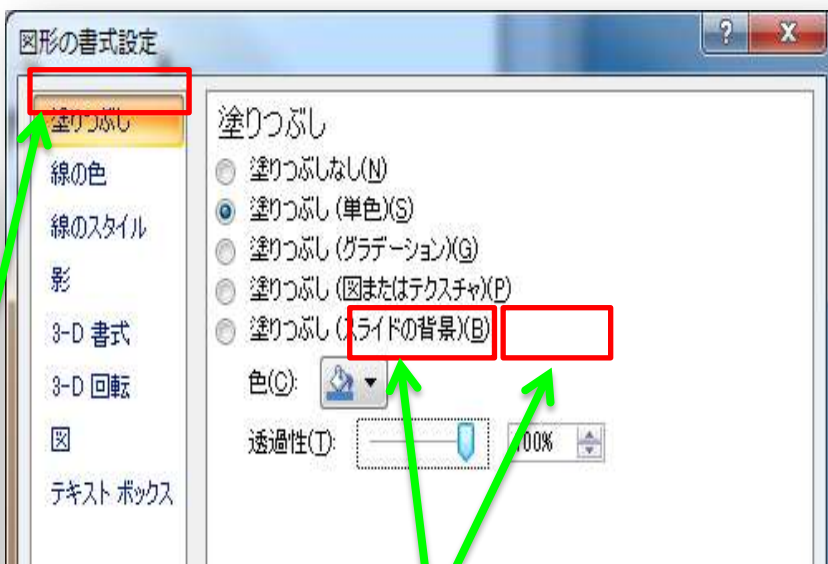
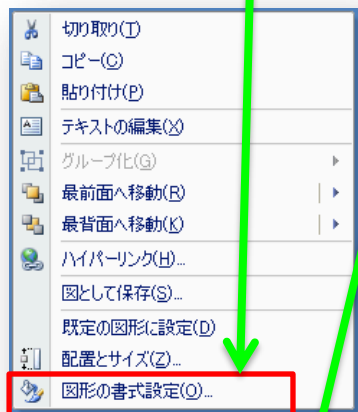


「清水寺」スライドを開き、「挿入」→「図形」→「正方形/長方形」の順にクリックします。

スライド全体を覆う大きさの長方形を描きます。この長方形全体をハイパーリンクのボタンとして設定するためです。

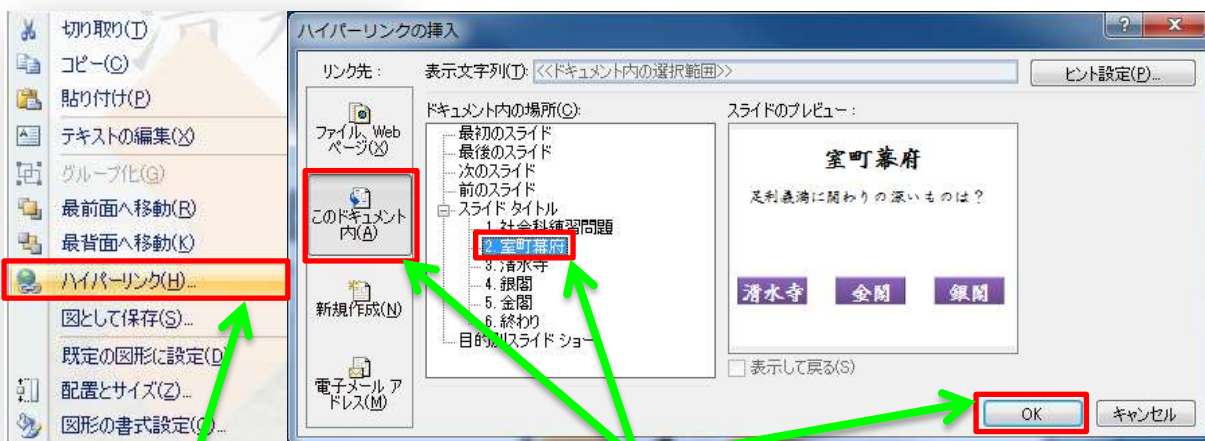


長方形の上で右クリックし、「図形の書式設定」を選びます。



「図形の書式設定」画面が表示されるので「塗りつぶし」をクリックします。

「透過性」のスライダ「□」を右方向に、100%になるまでドラッグし、右下の「閉じる」をクリックします。



スライドの上で右クリックし、「ハイパーリンク」を選択します。

「このドキュメント内」→「室町幕府」(問題画面)の順でハイパーリンクを設定し「OK」をクリックします。

他のスライドのハイパーリンクを設定しましょう。

「スライドショー」で動作を確認しましょう。きちんと動いていれば完成です。

「金閣」、「銀閣」のスライドも「スライドいっぱいの長方形を描く」→「透過性を100%にする」→「ハイパーリンクを設定する」の手順で設定を行いましょう。

「金閣」、「銀閣」のハイパーリンク設定は、以下のとおりです。  
金閣…「室町幕府」(問題画面)へ  
銀閣…「終わり」へ

全ての設定が終わったら、「F5」キーを押して実行させてみましょう。  
「終わり」のスライドを「第2問」とすれば、次々に問題を作成していくことができます。

生徒に「ネタばれ」しないよう、「PowerPoint スライドショー形式」でも保存しておきましょう！



## Ⅳ 教材作成(3) 「フォトアルバム」

卒業式や発表会から結婚披露宴まで・・・BGMに合わせ画像を次々に映し出す「スライドショー」。専用のビデオ編集ソフトウェアもあるほどの人気ですが、パワーポイントでも短時間で高画質のフォトアルバムを作成することができます。

### 今回作成するフォトアルバムについて

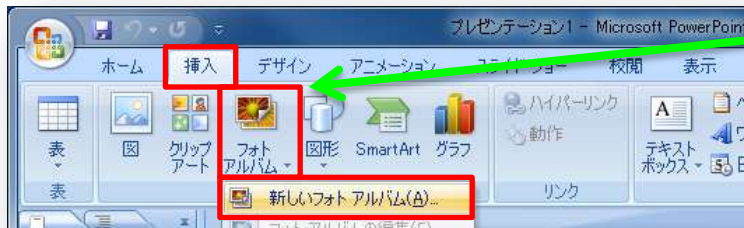


今回は公園で撮影した花の画像を「できるだけ簡単な操作で作成し」自動実行できるフォトアルバムにします。

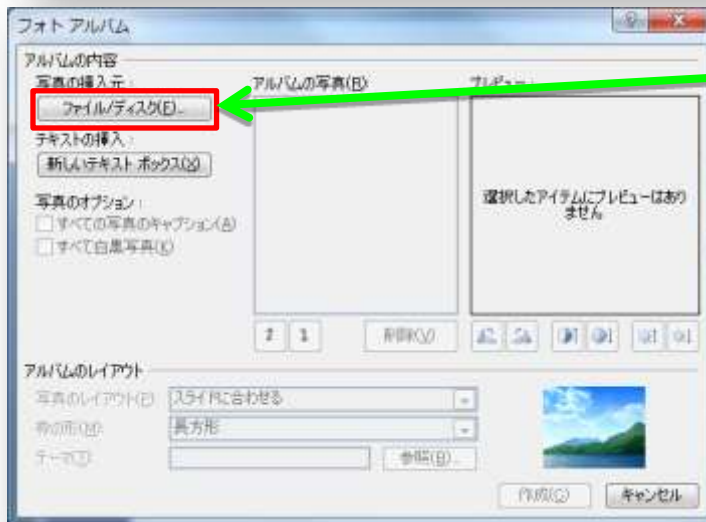
これらの画像は、1200万画素のデジタルカメラで撮影したものです。1枚が4000×3000ピクセルの大きさと、ファイルサイズも4MBあります。

ワープロなどに取り込んで通常だと大きすぎて扱いにくい画像ばかりです。

### フォトアルバムを作成しましょう



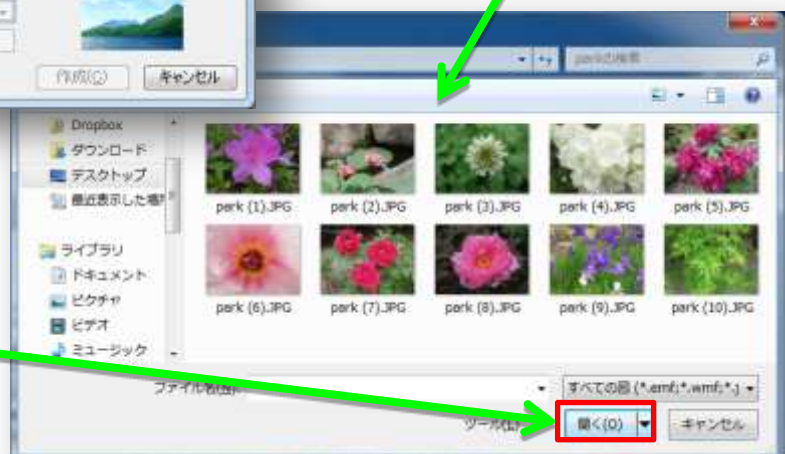
パワーポイントを起動し、「挿入」→「新しいフォトアルバム」の順にクリックします。



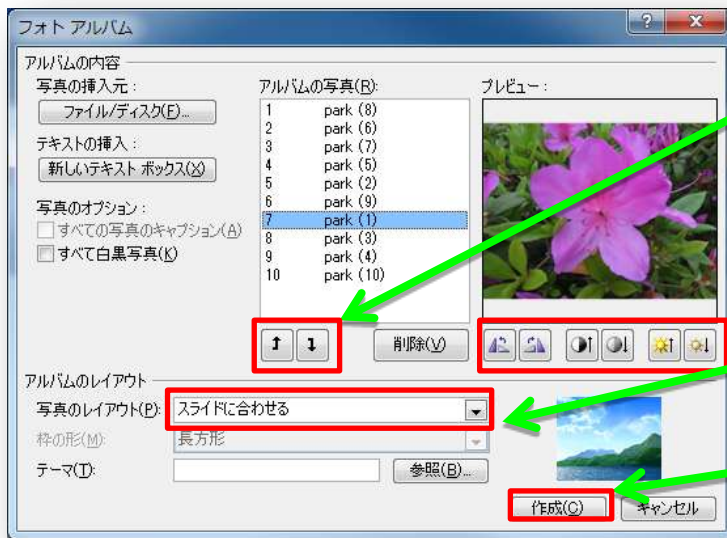
フォトアルバムの設定画面中の「ファイル/ディスク」をクリックします。

「park」フォルダを開きます。全ての画像を選択するために「Shift」キーを押しながら先頭と最後の画像をクリックします。

全ての画像が選択されているのを確認したら、「開く」をクリックします。







画像を選択し「↓」「↑」キーをクリックすることで、アルバムの順序を設定できます。

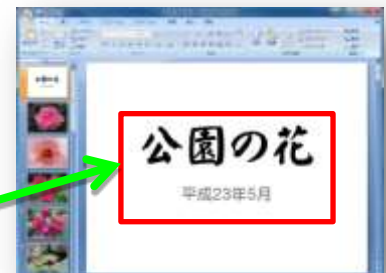
画像の向きや明るさ、コントラストの調整を行います。

1枚のスライドに入れる画像の枚数などを設定できます。

設定ができたなら、「作成」をクリックします。

自動的にアルバムが作成されます。「F5」キーを押して確認してみるとよいでしょう。

1枚目にアルバムのタイトル、サブタイトルなどを入力しましょう。今回はタイトルを「公園の花」サブタイトルを「平成23年5月」にしています。



スライドの切り替え効果を設定しましょう

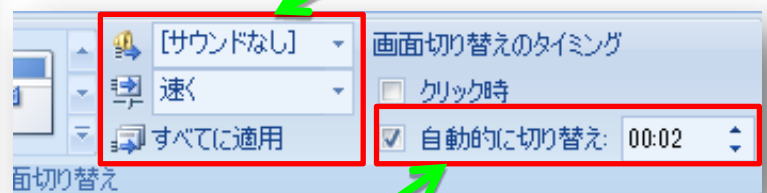
スライドが切り替わる際の効果を設定するために、「画面切り替え効果」右下の「▼」をクリックします。



それぞれのアイコンの上にマウスマウスカーソルを置くと、画面切り替え効果を確認することができます。好みの効果を設定しましょう。



スライドごとに画面切り替え効果を設定します。切り替え時の音や切り替え効果の速さなども設定できます。全てのスライドを同じ設定にする場合は、「すべてに適用」アイコンをクリックすると、全てのスライドの効果を一括設定することができます。



画面の切り替えを自動的に行いたい場合は、「自動的に切り替え」にチェックを入れ、秒数を指定しましょう。

## V 授業で活用されているプレゼンテーション教材

卒業式や発表会から結婚披露宴まで・・・BGM に合わせ画像を次々に映し出す「スライドショー」。専用のビデオ編集ソフトウェアもあるほどの人気ですが、パワーポイントでも短時間で高画質のフォトアルバムを作成することができます。

### やまぐち総合教育支援サイト「学習指導用コンテンツ」

<http://shien.ysn21.jp>

- トップページ→「先生のページ」  
→「学習指導支援情報1」内
- 各学年、教科ごとのリンク集です。学習指導案や各種教材をダウンロードして入手することができます。授業ですぐ使えるパワーポイントの教材もあります。

県内教職員による自作教材も掲載されています。自分で教材を作成する際に参考にされるとよいでしょう。

単元	内容	タイトル	内容	教材	指導資料
運動とエネルギー	運動と慣性	運動と力	運動の調子(実験)	<a href="#">yoshi.pptx (354KB)</a>	<a href="#">yoshi.ppt (317KB)</a>
運動とエネルギー	運動と慣性	落下運動	落下運動の速度と距離の関係を調べる(実験)自由落下運動の様子をビデオ撮影の観察から、時間、速度、移動距離など様々な物理量との間の関係を探ります。	<a href="#">yoshi.ppt (44KB)</a> <a href="#">yoshi.ppt (24KB)</a>	<a href="#">yoshi.ppt (209KB)</a>
運動とエネルギー	運動と慣性	力のつりあい	力のつりあいの条件を調べる(実験)(1年からの移行)	<a href="#">shien.pptx (14KB)</a>	<a href="#">shien.ppt (193KB)</a>
運動とエネルギー	運動と慣性	力の合成・分解			
運動とエネルギー	運動と慣性	力ははたらくときの運動を調べる	斜面上の落下運動を調べる	<a href="#">yoshi.pptx (112KB)</a>	<a href="#">yoshi.ppt (409KB)</a>

### マイクロソフト Web サイト「特別支援教育での PowerPoint 活用」ページ

<http://www.microsoft.com/japan/enable/ppt/default.mspx>

- 「小学校で学習する文字の PowerPoint スライド」  
ひらがなから漢字まで、小学校で学習するすべての文字の書き順がパワーポイントのスライド形式になっています。単元の学習に使用する文字の分のプレゼンテーションを作成して利用することができます。
- 「アイデア PowerPoint スライド」  
特別支援教育において、学習・生活の困難を助けるツールとして PowerPoint を活用した例が掲載されています。「使いやすいプレゼンテーション教材」のヒントが多くあり、有用です。

ちょっとでも、使ったその日から授業を変えることができます。  
効果的な ICT 活用の一歩を踏み出しましょう！